

中間整理(素案)080807案(意見集約表)

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
1		…営まれてきている。 また、日本海、瀬戸内海、…	…営まれてきている。この大規模な都市集積に加え、域内各地には、固有の歴史・文化・産業等を有する都市が存在し、関西の活力をともに支えている。 また、日本海、瀬戸内海、…	地方都市についても言及することが必要	和歌山県	1001
1		(前略) また、日本海、瀬戸内海、太平洋、大阪湾の豊饒の海を有し、淡路島や六甲、生駒、和泉、金剛、紀伊山系の「緑のヒンターランド」ともいうべき豊かな自然が、人々の日常生活の身近なところに広がっている。こうした地域には、豊かな自然や固有の伝統・歴史・文化に裏打ちされた無二の貴重な地域資源が存在している。	(前略) また、日本海、瀬戸内海、太平洋、大阪湾の豊饒の海を有し、淡路島や六甲、生駒、和泉、金剛、紀伊山系の「緑のヒンターランド」ともいうべき豊かな自然や「農」空間が、人々の日常生活の身近なところに広がっている。こうした地域には、豊かな自然や固有の伝統・歴史・文化に裏打ちされた無二の貴重な地域資源が存在している。	関西は大都市である京阪神都市圏と農山漁村が身近に存在していることが他地域とくらべ特徴的な地域である。	農政局	1002
1		「緑のヒンターランド」ともいうべき	(削除)	ヒンターランドの意味は「後背地」。環境を重視する文中で語感がよくない。	大阪府	1003
1		……「緑のヒンターランド」ともいうべき豊かな自然が、……	「緑のヒンターランド」ともいうべきを削除	「ヒンターランド」は、都市や港湾を中心とした「後背地」を指す表現である。自然は都市の後背地ではなく、都市中心の視点を変えるべき。このような形容をわざわざする必要がない。	奈良県	1004
2	1	関西は、古くから飛鳥、奈良、京都等に都が置かれ、長い年月をかけて日本を象徴する多様な文化を創造・継承・蓄積してきたことから、国宝・重要文化財、世界遺産をはじめ、我が国が守るべき歴史・文化資産が集中している。	関西は、古くから飛鳥、奈良、京都等に都が置かれ、長い年月をかけて日本を象徴する多様な文化を創造・継承・蓄積してきたことから、 世界遺産 、国宝・重要文化財、世界遺産をはじめ、我が国が守るべき歴史・文化資産が集中している。	p27第4部、第1節でも、世界遺産が先になっているため。	大阪市	1005
2	1	日本固有の歴史・文化資産と、それに裏打ちされた多様性と厚みを兼ね備えた本物の地域資源		地域資源の記載の整合が必要。 第3部第1節(2)③	近畿経済産業局	1006

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	1	こうした本物ともいうべき、日本固有の歴史・文化資産と…	こうした 本物ともいうべき いにしえからの、日本固有の歴史・文化資産と…	「本物ともいうべき」では、本物ではない資産になってしまう	兵庫県	1007
2	1	また、この多様で厚みのある歴史・文化は、 <u>細やかな伝統工芸や生活様式、祭事、食文化、風土、眺望・景観等</u> にもいかされ、現代の人々の生活にも深く息づいている。	次のように修正されたい。 また、この多様で厚みのある歴史・文化は、 <u>祭事や伝統工芸のみならず</u> 、現代の人々の生活にも深く息づいている。		京都府	1008
2	2	(表題) 西日本の中で最も集積が進んだ 中枢機能	個性豊かな地域が集積し、わが国の中枢機能を担う関西	表題表現の統一。西日本の中でとするのは東京圏に対峙する関西という印象となるので避ける方がよい。	関西広域機構	1009
2	2	また、個性の異なる各都市が競争し、都市、産業、学術、情報、中枢管理や国際交流といった諸機能においても、西日本で最も集積が進んでいる。	「…各都市が競争し、」の後に、下記を追加して頂きたい。 「交通ネットワークの整備が先導的に進められる等、」	第3部(3)③において、「交通ネットワークの整備により、広域的な観光ルートを形成するとともに、交通アクセスの不便な観光地を解消し…」など、交通ネットワークに関する戦略の記述はあるが、現状と課題においては、当該機能に関する記述がないため。	整備局	1010
2	2	域内総生産額約80兆円とG8諸国中のカナダに次ぐ経済規模を有し、	データの確認	最新のデータ(2005年)では、G8諸国に及ばない数字となっているので、表現の工夫が必要。(G8最下位のロシア764ドルに及ばず、福井を含むGDP(84兆円)でも742ドル)確認が必要。	近畿経済産業局	1011
2	2	各都市が競争し、	各都市が存在し、	競争だけではない	大阪府	1012
2	2	……域内総生産額約80兆円と……	……域内総生産額約 <u>81</u> 兆円と……	全国計画P124の⑤近畿圏のポテンシャルの表現と若干の違いがある。特に支障がなければ、全国計画と合わせてもよいのではないかな。	奈良県	1013
2	3	さらに、完全24時間運用が可能な関西国際空港やスーパー中枢港湾であるとともに一開港化により一体的な運用が図られている阪神港等、次世代産業等の発展に資する高いポテンシャルも有している。	「(3)最先端の技術力で我が国の発展を牽引する関西」ではなく、「(2)西日本の中で最も集積が進んだ中枢機能」の項目に記述するものではないかな。	当該内容は、機能面に関する記述であり、技術力に關与する項目に直接該当しないことから、(3)の項目名との整合が図られていないと拝察するため。	整備局	1014
2	3	こうした卓越した学術研究の集積には、…	こうした卓越した研究開発拠点には、…	表現の適正化	近畿経済産業局	1015

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	3	世界有数の情報家電産業、食品、医薬等のバイオ産業、先端医療産業、ソフトコンテンツ産業といった次世代をリードする産業・・・	世界有数の情報家電関連産業、医薬品等のバイオ産業、コンテンツ産業といった次世代をリードする産業・・・	表現の適正化。第2部第3節1つめの○との整合性確認。	近畿経済産業局	1016
2	3	多様で層の厚いものづくり基盤技術産業の集積が顕著である。	多様で層の厚いものづくり基盤技術産業が集積している。	表現の適正化	近畿経済産業局	1017
2	3	完全24時間運用が可能な関西国際空港やスーパー中枢港湾であるとともに、一開港化により一体的な運用が図られている阪神港等	完全24時間運用が可能な関西国際空港や、スーパー中枢港湾として一開港化により一体的な運用が図られている阪神港等	表現の適正化	近畿経済産業局	1018
2	3	こうした卓越した学術研究の集積には、世界最高輝度の放射光を発生できるSpring-8等の先端実験施設を有し、独創的かつ先端的な学術研究に適している。	こうした卓越した学術研究の集積には、世界最高輝度の放射光を発生できるSpring-8、 <u>世界最先端・最高性能の次世代スーパーコンピュータ等の先端大規模研究施設を有し、独創的かつ先端的な学術研究に適している。</u>	国家基幹技術の一つに位置づけられている次世代コンピュータについては、Spring-8と同様にこの節でもふれておくべきと考える	神戸市	1019
2	3	大阪彩都	彩都	正式名称で表示	大阪府	1020
2	3	関西は、関西文化学術研究都市、大阪彩都(国際文化公園都市)、神戸医療産業都市、播磨科学公園都市等の特色ある研究開発拠点が形成されるとともに、我が国有数の大学が数多く存在し、高度な知識や技術をもつ優秀な人材を多数輩出している。こうした卓越した学術研究の集積には、世界最高輝度の放射光を発生できるSpring-8等の先端実験施設を有し、独創的かつ先端的な学術研究に適している。	関西は、 <u>世界最高輝度の放射光を発生できるSpring-8等の先端実験施設を有し、独創的かつ先端的な学術研究に適した</u> 関西文化学術研究都市、大阪彩都(国際文化公園都市)、神戸医療産業都市、播磨科学公園都市等の特色ある研究開発拠点が形成されるとともに、我が国有数の大学が数多く存在し、高度な知識や技術をもつ優秀な人材を多数輩出している。 <u>こうした卓越した学術研究の集積には、世界最高輝度の放射光を発生できるSpring-8等の先端実験施設を有し、独創的かつ先端的な学術研究に適している。</u>	表現の適正化	兵庫県	1021

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	3	完全24時間運用が可能な関西国際空港や……阪神港等、次世代産業等の発展に資する高いポテンシャルも有している。	完全24時間運用が可能な関西国際空港をはじめとする関西3空港や……阪神港等、次世代産業等の発展に資する高いポテンシャルも有している。	中間整理(素案)では、空港については関空しか記載していないが、関西圏の航空需要・航空利用者の利便性向上を図るためには、大阪、神戸も加えた3空港がそれぞれの特性を活かしながら一体となって国際・国内航空需要に対応していくことが必要であり、関西が有するポテンシャルを示す記載としては、「関西3空港」として記載すべき	兵庫県	1022
2	3	さらに、完全24時間運用が可能な関西国際空港やスーパー中枢港湾であるとともに、一開港化により一体的な運用が図られている阪神港等、次世代産業等の発展に資する高いポテンシャルも有している。	さらに、完全24時間運用が可能な関西国際空港やスーパー中枢港湾であるとともに、一開港化により一体的な運用が図られている阪神港等、次世代産業等の発展に資する高いポテンシャルも有している	・表現の適正化 ・「関西は」の主語に対して、「スーパー中枢港湾である」は、述語として間違いであるため。	整備局	1023
2	3	関西空港やスーパー中枢港湾であるとともに、一開港化により	関西空港や、スーパー中枢港湾であるとともに一開港化により	表現を分かりやすくするため	大阪府	1024
2	4	古代、…(以下略)	古代、我が国と大陸との文化交流の窓口であった大阪は、近世に至るまでの間、経済の中心地として様々な交易が行われた。	表現を分かりやすくするため	大阪府	1025
2	4	現在、…	近年では、…	表現の適正化	近畿経済産業局	1026
2	4	こうした卓越した学術研究の集積には、…適している。	世界最高輝度の放射光を発生できるSpring-8等の先端実験施設をはじめ、卓越した学術研究の集積は、独創的かつ先端的な学術研究に適している。	表現を分かりやすくするため	大阪府	1027
2	5	大阪平野等	大阪平野	中心が固定されないと同心円にならな	大阪府	1028
2	5	…近年では、地球温暖化防止京都会議や世界水フォーラム等の環境問題をテーマとした国際会議を関西で開催されるなど、環境問題に対する意識の高い象徴的な圏域になりつつある。	…近年では、地球温暖化防止京都会議や世界水フォーラム等の環境問題をテーマとした国際会議が関西で開催されるなど、環境問題に対する意識の高い象徴的な圏域になりつつある。	「を」では「開催される」が尊敬語になってしまうため。	大阪市	1029

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	5	国際会議を	国際会議が	文法上の修正	和歌山県	1030
2	5	古くから琵琶湖・淀川流域や瀬戸内海等における水環境対策に取り組んでおり、	古くから琵琶湖・淀川流域や瀬戸内海等における水環境対策に取り組んでおり、	表現の適正化	近畿経済産業局	1031
2	5	環境問題をテーマとした国際会議を関西で開催されるなど、環境問題に対する意識の高い象徴的な圏域になりつつある。	環境問題をテーマとした国際会議が関西で開催されるなど、環境問題に対する意識の高い象徴的な圏域である。	表現の適正化	近畿経済産業局	1032
2	5	(5)人と自然が共生する関西 関西は、大阪平野等を中心にほぼ同心円状に盆地、山地の地形が連続して広がる構造を有しており、都市・農山漁村・自然が適度に分散し、熊野古道や近江八幡の水郷等、都市部と近接した文化的景観が存在するなど、都市的魅力と自然的魅力の双方を同時に享受できる恵まれた条件を有している。 (略)	(5)人と自然が共生する関西 関西は、大阪平野等を中心にほぼ同心円状に盆地、山地の地形が連続して広がる構造を有しており、都市・農山漁村・自然が適度に分散し、熊野古道や近江八幡の水郷等、都市部と近接した文化的景観が存在するなど、都市的魅力と農山漁村の自然的魅力の双方を同時に享受できる恵まれた条件を有している。 (略)	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	1033
2	5	都市・農山漁村・自然が適度に分散し、熊野古道や近江八幡の水郷等、都市部と近接した文化的景観が存在	都市・農山漁村・自然が適度に分散し、嵯峨嵐山、熊野古道や近江八幡の水郷等、都市部と近接した文化的景観が存在	「都市部と近接した文化的景観」の代表例として追加してほしい。	京都市	1034
2	5	国際会議を関西で開催されるなど	国際会議が関西で開催されるなど	文章のつながりを考えた場合、より適切である。	京都市	1035
2	5	近年では、地球温暖化防止京都会議や世界水フォーラム等の環境問題をテーマとした国際会議を関西で開催されるなど、環境問題に対する意識の高い象徴的な圏域になりつつある。	近年では、G8環境大臣会合、地球温暖化防止京都会議、世界水フォーラム等の環境問題をテーマとした国際会議が関西で開催されるなど、環境問題に対する意識の高い象徴的な圏域になりつつある。	会合の規模や重要性から見て、関西で近年に開催された環境に関する国際会議の例として掲載することが適切だと思われるため。	兵庫県	1036
2	6	ゼロメートル地帯等での大規模洪水被害	降雨災害などの洪水被害	大規模洪水被害はゼロメートル地帯等でおこるものではない	整備局	1037
2	6	多様で豊かな自然環境に恵まれる反面	多様で豊かな自然環境に恵まれている反面	表現の適正化	近畿経済産業局	1038

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	6	国際的な研究・教育施設等の防災関連機関が数多く集積するとともに、阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かした官民協働の被災地支援活動が活発であることなどから、	国際的な研究・教育施設等の防災関連機関が数多く集積し <u>るとともに</u> 、阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かした官民協働の被災地支援活動が活発であることなどから、	表現の適正化。被災地支援活動だけが活発なのではないため。	兵庫県	1039
2	6	関西は、多様で豊かな自然環境に恵まれる反面、台風、地震等による自然災害が頻発し、各地の被害は深刻である。また、東南海・南海地震や都市直下型地震による大規模被災及び被災による歴史・文化遺産の倒壊・消失、ゼロメートル地帯等での大規模洪水被害、近接した大都市の同時被災による都市機能の麻痺等、今後、激甚な災害が発生するリスクも抱えている。	関西は、多様で豊かな自然環境に恵まれる反面、台風、地震等による自然災害が頻発し、各地の被害は深刻である。また、東南海・南海地震やそれに伴う津波、都市直下型地震による大規模被災及び被災による歴史・文化遺産の倒壊・消失、ゼロメートル地帯等での大規模洪水被害や高潮災害、近接した大都市の同時被災による都市機能の麻痺等、今後、激甚な災害が発生するリスクも抱えている。	●「津波」 津波は、地震に起因して発生するが、一度に発生する被害が大きい上に、災害としては別に分類されているため明示した。 ●水害や高潮災害 ・ゼロメートル地帯等では、水害のみではなく高潮による災害リスクも高く、また、水害と高潮災害は、全く別の災害であるため、追記した。 ・全国計画では、「(2)風水害・豪雪・高潮対策」(P91)で明瞭に節を分離して記述しているところ。 ・また、社会資本整備審議会河川分科会の「豪雨災害対策の推進について(提言)」、「気候変動に適応した治水対策のあり方について(諮問書)」、諮問文等の文書や国会答弁等では、「水害、土砂災害、高潮災害等」と並べて記述しているところ。	整備局	1040
2	追加項目		府県の枠組みを越えた広域連携が進む関西	関西には関西広域機構(KU)があり、更には関西広域連合の設立を進めており、関西は府県の枠組みを越えた広域連携の取組を進める先進地域と言える。広域連携や新たな公の担い手となる組織づくりの土壌ができている。	関経連	1041
3	1	【語句修正】 産官学	産学官	他の箇所と統一	徳島県	1042

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	1	【下三行】 …府県の区域を越えた広域観光戦略を描き、…	…圏域を超えた広域観光戦略を描き、…	第3部第1節(3)④で「圏域を超えた新たな広域観光ルートの整備」という、圏域を超えた広域観光戦略に関する記述があり、それと整合性を図るため。	徳島県	1043
3	1	…国内外の関西への観光需要を拡大させるためには、産官学が連携して府県の区域を越えた広域観光戦略を描き、各観光資源を有機的に結びつけ、関西の魅力を世界へ発信していく必要がある。	…国内外の関西への観光需要を拡大させるためには、産官学が連携して 圏域 <u>府県の区域</u> を越えた広域観光戦略を描き、各観光資源を有機的に結びつけ、関西の魅力を世界へ発信していく必要がある。	東アジアの観光客数の増加が予想される中、関西への観光需要を拡大させるためには、圏域を越えた広域観光ルート整備等、広域観光戦略が必要(=P13第3部第1節(3)④と語句統一)	福井県	1044
3	1	加えて、漫画・アニメ・ゲーム等我が国の新しい文化への人気も高まっている。	削除	本文と全く関連のない記述となっている。	三重県	1045
3	1	位置)冒頭 内容)加えて、漫画・新しい文化への人気も高まっている。	加えて…を削除して、位置を(4)の後ろとする。	「加えて…」が浮いているので、削除してはどうか。観光を特化して書くのも一計であるが、冒頭はどうか。	関西広域機構	1046
3	1	関西の観光については、～関心が高まっており、	削除	後ろ向きな表現のため削除	関西広域機構	1047
3	1	産官学が連携して	産官学連携・広域連携の一層の強化を図り、	より具体的な表現に変更	関西広域機構	1048
3	1	関西の観光については、大阪、京都等一部の観光地を除き、関西各地に存在する優れた観光資源が十分に活かされていない。日本文化に対する関心が高まっており、今後も東アジアの観光客数の増加が予測される中、国内外の関西への観光需要を拡大させるためには、産官学が連携して府県の区域を越えた広域観光戦略を描き、各観光資源を有機的に結びつけ、関西の魅力を世界へ発信していく必要がある。	関西各地には優れた観光資源が数多く存在するにもかかわらず、十分に活かされていない。近年、日本文化に対する関心が高まっており、今後も国内外からの観光客数の増加が予測される中、関西への観光需要を拡大させるためには、産官学が連携して府県の区域を越えた広域観光戦略を描き、各観光資源を有機的に結びつけ、関西の魅力を世界へ発信していく必要がある。	大阪、京都以外にも活かされている観光地は存在するはずで、誤解を招きやすい表現は避けるべき。	近畿経済産業局	1049
3	2	関西では、…役割が高まっているといえる。	関西は、…役割が高まっている。	表現を分かりやすくするため	大阪府	1050

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	2	首都圏に次ぐ社会経済規模を有し、同時被災の可能性が低い地域に位置する関西では、首都圏の被災時において経済面等でバックアップする機能を担う役割が高まっているといえる	首都圏に次ぐ社会経済規模を有し、同時被災の可能性が低い地域に位置する関西では、首都圏の被災時において経済面等で大規模災害時に首都機能をバックアップする機能を担う役割が高まっているといえる	大規模災害により首都機能が混乱に陥るような場合や首都圏の復旧復興に注力することが優先される場合に、通常の政府業務を関西で代行することが危機管理上必要ではないか、という趣旨の提案であり、経済面だけだと個別企業の本社機能のバックアップをどうするか、という問題に矮小化しかねない	兵庫県	1051
3	3	滋賀県や隣接する三重県では、製造品出荷額がバブル期の水準を維持し、域内総生産額が近年増加傾向にあるなど	滋賀県や隣接する三重県では、製造品出荷額やバブル期の水準を維持し、域内総生産額が近年増加傾向にあるなど	当時の出荷額がバブルであったような印象を与えるため。	三重県	1052
3	3	従来産業構造の転換による低・未利用地の活用が大きな課題であったが、	従来、産業構造の転換による低・未利用地の活用が大きな課題であったが、	表現の適正化	近畿経済産業局	1053
3	3	昨今、素材産業の立地が急速に進み、液晶・プラズマパネルの新工場の建設を形容した「パネルベイ」という呼称が定着するなど、臨海部の優位性が評価されつつある。	昨今、情報家電、新エネルギー等の産業立地が急速に進み、臨海部の優位性が再評価されつつある。	立地する産業群の明確化を図るため	近畿経済産業局	1054
3	3	関西から首都圏に業務機能に移す動きが継続しており、	関西から、首都圏をはじめとする他圏域への本社機能の流出が続くなど、	表現の明確化。(7)では、業務機能の集積が進むとの記述もあり、矛盾する。	近畿経済産業局	1055

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	4	関西と歴史的に～それぞれに大きな課題を抱えている。 このため、関西の空港・港湾の国際競争力を高め、日本海側港湾のポテンシャルも活かしつつ、成長する東アジアの活力を取り込んでいくことが必要である。	関西と歴史的に～それぞれに大きな課題を抱えている。 また、日本海沿岸地域の港湾等についても、東アジア地域との結びつきにおいてゲートウェイ機能が期待される中で、大規模物流に対応した施設整備や山陰側の高速道路と太平洋側高速道路ネットワークとの結びつきに整備の遅れがあるなど、関西圏と日本海側を結ぶネットワーク整備が十分でないという課題を抱えている。 このため、関西の空港・港湾の国際競争力を高め、かつ、日本海側港湾のポテンシャルを活かすインフラ整備を進めることにより、成長する東アジアの活力を取り込んでいける体制づくりが必要である。	東アジアとの結びつきを強める上では、関西国際空港や阪神港等関西エリアの中核港湾だけでなく、ゲートウェイとして重要な役割を担う日本海沿岸地域の港湾や背後に延びる道路網についても整備の必要性について言及する必要があると考えるため。	鳥取県	1056

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	5		河川・海岸環境は、気候変化による気温、水質、流況、土砂流出、流域や沿岸域の環境等の様々な環境要素の変化や人間活動の変化から影響を受け、これに伴い河川・海岸における生態系や水・物質循環系への影響が予想される。 このような様々な気候変化に伴う脅威に対応していくには、水害や渇水被害、土砂災害、高潮災害等に対する災害リスクの軽減及び河川、海岸における生態系や水・物質循環系の健全性の確保が重要であるが、このためには、これまでのような防災・減災対策のみならず、モニタリングの強化と災害に強い社会構造への転換が必要である	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」(答申)から、課題について記載	整備局	1057
3	5	減少しており、相対的には取組が進んでいるものの、	減少しているものの、	表現を分かりやすくするため	大阪府	1058
3	6	関西は、三大都市圏の中でも年少人口の減少、高齢者人口の増加が最も急速に進んでおり、		三大都市圏の中で、高齢者人口の増加が最も急速に進んでいるといえないデータもあるが、確認が必要。	近畿経済産業局	1059
3	6	2020年には1,985万人、2035年には1,763万人になると見込まれる。総人口に占める高齢者の割合は、2005年には20%であったが、2020年には29%、2035年には34%と上昇すると見込まれる。	2020年には1,985万人、2035年には1,763万人になり、総人口に占める高齢者の割合は、2005年には20%であったが、2020年には29%、2035年には34%と上昇すると予想されている。	表現の明確化 この部分だけ、数値データが多用されているが、全体のバランスに問題ないか。	近畿経済産業局	1060
3	6	活力の低下は避けがたい状況であるが、	活力の低下が危惧されるが、	避けがたいと言い切りにするべきではない。	大阪府	1061
3	7	一方、大都市部においては、負の遺産である老朽木造密集市街地・・・	一方、老朽木造密集市街地・・・	大都市部についての記述なので、大都市部においてはという限定は不要。また、負の遺産の表現ぶりは再考が必要。	近畿経済産業局	1062

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	7	近年の業務機能の回復を好機と捉え、…		業務機能の回復が強調されすぎているのではないか。	近畿経済産業局	1063
3	7	一方、大都市部においては、負の遺産である老朽木造密集市街地、通過交通による慢性的な渋滞、ヒートアイランド現象、都市内緑地の不足、大阪湾臨海部の親水性の低さ、郊外ニュータウンにおけるオールドタウン化等、依然として多くの課題を抱えている。	一方、 大都市部においては 、負の遺産である老朽木造密集市街地、 通過交通による 慢性的な渋滞、ヒートアイランド現象、都市内緑地の不足、大阪湾臨海部の親水性の低さ、郊外ニュータウンにおけるオールドタウン化等、 依然として多くの 課題を抱えている。	表現の適正化 慢性的渋滞の原因が通過交通のみにみえるため	兵庫県	1064
3	8	農林業の衰退等を原因とし、全国を上回るペースでの耕作放棄地の増加、森林の荒廃、空き家の増加	農林業の衰退等を原因とし、全国 平均値 を上回るペースでの耕作放棄地の増加、森林の荒廃、空き家の増加	全国を上回るの表現の修正	整備局	1065
3	8	今後は、中心市街地の活性化を図るとともに、農山漁村における集落機能の維持向上と農林水産業の活性化を図り…	今後は、地方中心都市と大都市との密接な連携の下、中心市街地の活性化を図るとともに、農山漁村における集落機能の維持…が重要である。	地方を支える中心都市は、まず大都市圏と密接につながっていることが重要	和歌山県	1066
3	8	商店街の空き店舗率の増加等、中心市街地の空洞化が進んでいる。	商店街の空き店舗の増加等、中心市街地の空洞化が進んでいる。	表現の適正化	近畿経済産業局	1067
3	8	(8) 地方都市の活力と農山漁村の集落機能の低下 関西の地方都市においては、中心部の居住人口の減少・高齢化、商店街の空き店舗率の増加等、中心市街地の空洞化が進んでいる。また、農山漁村では、著しい高齢化や生産年齢人口・若年人口の流出、農林業の衰退等を原因とし、全国を上回るペースでの耕作放棄地の増加、森林の荒廃、空き家の増加、医療・福祉サービスの水準低下等、地域の個性や魅力のよりどころとなる集落の機能低下が懸念されている。 (略)	(8) 地方都市の活力と農山漁村の集落機能の低下 関西の地方都市においては、中心部の居住人口の減少・高齢化、商店街の空き店舗率の増加等、中心市街地の空洞化が進んでいる。また、農山漁村では、 過疎化、高齢化等の進展により、生産活動の停滞・後退がみられ、著しい高齢化や生産年齢人口・若年人口の流出、農林業の衰退等を原因とし、全国を上回るペースでの耕作放棄地の増加、森林の荒廃、空き家の増加、医療・福祉サービスの水準低下等、地域の個性や魅力のよりどころとなる集落の機能低下が懸念されている。 (略)	食料・農業・農村基本計画における記述とした。また、農林業センサスによると、近畿2府4県の耕作放棄地率は平成12年の5.2%から平成17年に9.4%となっており、同時期の全国平均5.3%から9.7%と比べて増加率は下回っている。	農政局	1068

第1部 関西の現状と課題 について

節NO.	()NO.	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	8	また、農山漁村では、著しい高齢化や生産年齢人口・若年人口の流出、農林業の衰退等を原因とし、全国を上回るペースでの農作放棄地の増加、森林の荒廃、空き家の増加、医療・福祉サービス水準低下等、地域の個性や魅力のよりどころとなる集落の機能低下が懸念されている。	下線部を追加 また、農山漁村では、著しい高齢化や生産年齢人口・若年人口の流出、農林業の衰退等を原因とし、全国水準(レベル)を上回るペースでの農作放棄地の増加、森林の荒廃、空き家の増加、医療・福祉サービス水準低下等、地域の個性や魅力のよりどころとなる集落の機能低下が懸念されている。	「全国」という言葉の意味を補足加筆	奈良県	1069
3	9	(表題)「新たな公」・・・	削除	国土形成計画全国版を引っ張るのみではどうか。また、他の項目と異質感が強い。第5部第2節に記載を集中すべき。	関西広域機構	1070
3	9	平成17年の4,918団体まで	平成17年の1,680団体まで	内閣府に確認	滋賀県	1071
3	追加項目		整備途上の物流ネットワーク	道路ネットワーク、関空、港湾が整備途上であることを問題意識として言及しておく必要があるのではないか。また、第3部や第4部とのつながりを持たせる意味でも、第1部で関西の課題として単独のテーマとして記載しておく方がいいのではないか。	関経連	1072

第2部 関西の目指す姿について

節 NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
1	2	関西が	関西は	語句修正	和歌山県	2001
1	4	隣接する地域も含め、関西各地に残る伝統、文化、景観等の固有資源を核として個性あふれる地域づくりを行い、世界に誇れる歴史・文化圏域となる。	「・・・個性あふれる地域づくりを行い、」の後に、下記を追加して頂きたい。 「地域間の連携を促進し、」	第3部(3)③において、「交通ネットワークの整備により、広域的な観光ルートを形成するとともに、交通アクセスの不便な観光地を解消し・・・」と戦略の記述はあるが、空港等との連携や観光地間の連携等、交通ネットワークに関する目指す姿(目標)に相当する記述がないため。	整備局	2002
1	全体	○関西は、古くから都が置かれ、長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積し、多くの歴史・文化資産を有するだけでなく、<u>多様性と厚みを兼ね備えた細やかな伝統工芸、生活、食、風土、眺め等を有している。</u> ○このように長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積してきた関西が日本のアイデンティティを象徴する圏域となる。 ○「<u>関西ブランド</u>」、「<u>日本ブランド</u>」とも言うべき、<u>これら本物の日本固有の歴史・文化資産や景観等を大切に保全・継承し、本物にこだわる伝統を踏まえ、まちづくり、ものづくり、ひとづくりにおいても徹底して質にこだわり、新たな本物を創造・展開する圏域となる。</u> ○隣接する地域も含め、関西各地に残る<u>伝統、文化、景観等の固有資源(伝統、文化、風景など)</u>を核として個性あふれる地域づくりを行い、世界に誇れる歴史・文化圏域となる。	次のように修正されたい。 ○関西は、古くから都が置かれ、長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積し、多くの<u>歴史資産や文化資産を有する。</u> ○<u>また、街並みや生活様式にも、これらの資産に象徴される多様性と厚みを兼ね備えた文化が息づいている。</u> ○このように長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積してきた関西が日本のアイデンティティを象徴する圏域となる。 ○これら関西において長く受け継がれてきた<u>歴史資産、伝統や景観等の文化資産を大切に保全・継承し、本物を志向する伝統を踏まえ、まちづくり、ものづくり、ひとづくりにおいても、徹底して質にこだわり、新たな本物を創造・展開する圏域となる。</u> ○隣接する地域も含め、関西各地に残る<u>伝統や景観等の文化資源を核として個性あふれる地域づくりを行い、世界に誇れる歴史圏域・文化圏域となる。</u> (補足) 「<u>関西ブランド</u>」「<u>日本ブランド</u>」等の用語は本文中に用語の定義が必要と考える。		京都府	2003

第2部 関西の目指す姿について

節 NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
1	追加項目	なし	(追加) 関西各地の観光資源を活用し、国内外に発信することにより、個性あふれる国際競争力の高い観光圏域となる。	第1部から第3部へのつながりを考えて、第2部にも「観光」の記述がほしい。	京都市	2004
2	2	…生活の豊かさが実現された首都圏とは異なるもう一つの中心核	…生活の豊かさが実現された、首都圏とは異なるもう一つの中心核	修飾関係を明らかにするため	和歌山県	2005
2	2	シームレスにつなぐ	府県域や業種、分野の垣根を越えて活かす	表現を分かりやすくするため	大阪府	2006
2	2	多彩な文化、暮らし、産業が息づき、生活の豊かさが実現された首都圏とは異なるもう一つの中心核となる。	首都圏とは異なる多彩な文化、暮らし、産業が息づき、生活の豊かさが実現されたもう一つの中心核となる。	前後の文脈から、入れ替えをした方が、首都圏と異なる点を強調した表現とすることができる。	京都市	2007
2	5	非常時には首都圏のバックアップを担う圏域となる	非常時には首都機能圏のバックアップを担う圏域となる	バックアップするのは首都圏そのものではなく、首都の政府機能をはじめとする中枢機能	兵庫県	2008
3	1	…スーパー中枢港湾である阪神港、日本海側港湾等も備えており、…	…スーパー中枢港湾である阪神港をはじめ、特定重要港湾など主要港湾を複数備えており、…	日本海側・太平洋側の双方に主要港湾を複数備えていることがわかるように	和歌山県	2009
3	1	世界有数の家電関連産業、医薬品等のバイオ産業、ソフトコンテンツ産業や多様で層の厚いものづくり基盤技術産業、	世界有数の情報家電関連産業、医薬品等のバイオ産業、ソフトコンテンツ産業や多様で層の厚いものづくり基盤技術産業、	第1章第2節(3)との整合性	近畿経済産業局	2010
3	1	完全24時間運用が可能な関西国際空港や……も備えており、次世代産業を発展させる高いポテンシャルを有している。	完全24時間運用が可能な関西国際空港をはじめとする関西3空港や……も備えており、次世代産業を発展させる高いポテンシャルを有している。	中間整理(素案)では、空港については関空しか記載していないが、関西圏の航空需要・航空利用者の利便性向上を図るためには、大阪、神戸も加えた3空港がそれぞれの特性を活かしながら一体となって国際・国内航空需要に対応していくことが必要であり、関西が有するポテンシャルを示す記載としては、「関西3空港」として記載すべき	兵庫県	2011
3	2	…関西のエンジン産業として次世代産業やクリエイティブ産業を位置づけ、…	…関西のエンジン産業として国際競争力のあるハイテク産業等を位置づけ、同時に次世代産業やクリエイティブ産業を育成しながら…	産業の発展には、新たな産業の育成と主力産業の強化という両輪の取組が必要(次世代産業の定義にもよるが)。	関経連	2012

第2部 関西の目指す姿について

節 NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	2	全体	関西のエンジン産業として次世代産業やクリエイティブ産業を位置付け、京阪神都市部が関西全体と周辺地域の人・モノ・情報・経済を牽引することで、ものづくり基盤技術産業をはじめ産業全体を牽引する圏域となる。	表現を分かりやすくするため	大阪府	2013
3	4	密度の高い交流を展開することにより、 他圏域にない 独創性豊かなイノベーションを生み出す圏域となる。	密度の高い交流を展開することにより、独創性豊かなイノベーションを生み出す圏域となる。	「他圏域にない」とまで言えるかは疑問。	京都市	2014
4	1	関西は、琵琶湖や瀬戸内海等における水環境対策に古くから取り組んでおり、また、地球温暖化防止京都会議や世界水フォーラム等の実施、コウノトリとの共生等の環境面での先進的な取組が行われている。	関西は、琵琶湖や瀬戸内海等における水環境対策に古くから取り組んでおり、また、 G8環境大臣会合 、地球温暖化防止京都会議、世界水フォーラム等の実施、コウノトリとの共生等の環境面での先進的な取組が行われている。	会合の規模や重要性から見て、関西における環境面での先進的な取組の例として掲載することが適切だと思われるため。	兵庫県	2015
4	2	豊かな自然環境の保全・再生や地球温暖化防止等の環境対策を関西全体でマネジメントすること等により、環境先進圏域を目指すとともに、環境関連の産業・研究機関の集積を活かし、地球環境問題の解決に向け、世界に貢献する圏域となる。	豊かな自然環境の保全・再生や地球温暖化防止等の環境対策を関西全体で マネジメントする 取り組む こと等により、環境先進圏域を目指すとともに、環境関連の産業・研究機関の集積を活かし、地球環境問題の解決に向け、世界に貢献する圏域となる。	マネジメントする主体(機関)が明確にされていないため	三重県	2016
4	3	流域圏を一体として捉えて環境再生に	流域圏を一体として 的に 捉えて環境再生に		整備局	2017
4	4	関西全体で廃棄物リサイクルを行うこと等により、循環型社会を実現する圏域となる。	関西全体で廃棄物の3Rを推進し、循環型社会を実現する圏域となる。	・循環型社会の形成に向けた取組である3Rの中では、リサイクルが最も優先順位が低いものであり、リサイクルだけを記述したのでは全く片手落ちであるため。	近畿地方環境事務所	2018

第2部 関西の目指す姿について

節 NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	追加項目		適応策、緩和策を適切に組み合わせて、持続可能な社会・経済活動や生活を行える「水災害適応型社会」を目指す圏域となる。	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」を受け、河川局として今後、本答申を踏まえた施策を推進させていることになっているため以下の内容を記載してください。	整備局	2019
4	タイトル	人と自然が共生する持続可能な 世界的 環境先進圏域	人と自然が共生する持続可能な環境先進圏域	敢えて「世界的」と冠するまでの先進性があるのか疑問。	京都市	2020
5	1	○関西は、独自の地形のもとに都市・農山漁村・自然が適度に分散し、都市的魅力と自然的魅力の双方を同時に享受できる恵まれた条件を有している。	○関西は、独自の地形のもとに都市・農山漁村・自然が適度に分散し、都市の 的 魅力と 農山漁村の自然的 魅力の双方を同時に享受できる恵まれた条件を有している。	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	2021
5	2	○都市と自然との近接性を活かし、二地域居住や一つの地域に住んでいても両方の魅力が味わえる住まい方等、多様なライフスタイルが選択できる圏域となる。	○都市と 農山漁村自然 との近接性を活かし、二地域居住や一つの地域に住んでいても両方の魅力が味わえる住まい方等、多様なライフスタイルが選択できる圏域となる。	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	2022
5	3	高次の生産消費機能	多様な生産消費機能	「高次」の意味が明確でないため	大阪府	2023
5	4	地方部では、中心的な都市を核として周辺の地域と連携することにより、持続的に発展する広域的な生活圏を形成する。	地方部では、 地方都市間及び大都市 との交流・連携を強化するとともに、中心的な都市を核として周辺の地域と連携することにより、持続的に発展する広域的な生活圏を形成する。	地方の持続的発展には、生活圏域の形成にとどまらず、地方都市間及び大都市との交流・連携の強化が重要	和歌山県	2024
5	5	○農山漁村では、農林水産業が担う食料の安定供給の役割をはじめ水源涵養、国土保全といった多面的で公益的な機能を十分発揮させるための適切な整備と保全を図り、その上で、都市との共生・対流や地域資源を活用した産業の活性化等により持続可能な地域社会を形成する。	○農山漁村では、農林水産業が担う食料の安定供給の 機能や役割をはじめ 水源涵養、国土保全といった多面的で公益的な機能を十分発揮させるための適切な整備と保全を図り、その上で、都市との共生・対流や地域資源を活用した産業の活性化等により持続可能な地域社会を形成する。	食料の安定供給の役割は、公益的機能の概念に含まれないため。	農政局	2025
5	タイトル	第5節 都市的魅力と自然的魅力を日常的に享受できる圏域	第5節 都市の 的 魅力と 農山漁村の自然的 魅力を日常的に享受できる圏域	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	2026

第2部 関西の目指す姿について

節 NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
6	2	各地域が広域的な連携を図ることにより、関西のどこに住んでも医療・教育・交通等の基本的な生活サービス機能を楽しむ圏域となる。	各地域が広域的な連携を図ることにより、関西のどこに住んでも医療・教育・交通・ 情報通信 等の基本的な生活サービス機能を楽しむ圏域となる。	内容の追加	鳥取県	2027
6	3	地域全体で社会を構築する	地域で活躍する	表現を分かりやすくするため	大阪府	2028
7	1	東南海・南海地震による大規模被災、ゼロメートル地帯における水害や高潮被害に対する脆弱性や・・・	東南海・南海地震による大規模被災や頻発する水害による大規模被災等への脆弱性や・・・	脆弱なのはゼロメートル地帯での高潮災害だけではないため。	整備局	2029
7	1	○関西は、阪神・淡路大震災等の経験・教訓に伴う高い防災意識や防災関連の研究機関等の集積を有する一方、東南海・南海地震による大規模被災、ゼロメートル地帯における水害や高潮災害に対する脆弱性や地理的に近接する大都市の同時被災による都市機能の麻痺が懸念されている。	○関西は、阪神・淡路大震災等の経験・教訓に伴う高い防災意識や防災関連の研究機関等の集積を有する一方、ゼロメートル地帯における 水害や高潮災害、集中豪雨や台風などの風水害 に対する脆弱性や 東南海・南海地震による大規模被災 など地理的に近接する大都市の同時被災による都市機能の麻痺が懸念されている。	ゼロメートル地帯の水害のみではない。	整備局	2030
7	1	東南海・南海地震等の大規模地震・津波、豪雨、豪雪、高潮等の自然災害に強く、安心して生活し産業活動ができる圏域となる。	東南海・南海地震等の大規模 地震・津波、豪雨、豪雪、震災、風水害、地すべり災害 、高潮等の自然災害に強く、安心して生活し産業活動ができる圏域となる。	暴雨、暴雪等表現の修正	整備局	2031
7	1	○関西は、阪神・淡路大震災等の経験・教訓に伴う高い防災意識や防災関連の研究機関等の集積を有する一方、東南海・南海地震による大規模被災、ゼロメートル地帯における水害や高潮災害に対する脆弱性や地理的に近接する大都市の同時被災による都市機能の麻痺が懸念されている。	○関西は、阪神・淡路大震災等の経験・教訓に伴う高い防災意識や防災関連の研究機関等の集積を有する一方、東南海・南海地震 やそれに伴う津波 による大規模被災、ゼロメートル地帯における水害や高潮災害に対する脆弱性や地理的に近接する大都市の同時被災による都市機能の麻痺が懸念されている。	●津波は、地震に起因して発生するが、一度に発生する被害が大きい上に、災害としては別に分類されているため明示した。	整備局	2032

第2部 関西の目指す姿について

節 NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
7	1	……都市機能の麻痺が懸念されている	下線部追加 ……都市機能の麻痺が懸念されている。また、山間部においては、 <u>土砂災害等の発生による道路・交通・情報の寸断が、集落の孤立化など住民生活の危機的な状況を招くおそれがある。</u>	・都市部における災害だけでなく、山間部における災害は、被災時の状況把握が遅れがちとなり甚大な被害をもたらす場合が多いため、記述が必要。	奈良県	2033
7	2	東南海・南海地震等の大規模地震や津波、豪雨、豪雪、高潮等の	東南海・南海地震等の大規模地震や風水害、土砂災害等の		整備局	2034
7	追加項目	—	自然災害以外の災害(水質事故、交通障害、大気(土壌)汚染、テロ)に対する危機による安全性を有する圏域となる。	人為的災害についても記載	整備局	2035
全体	1		○を取り去る、あるいは「(背景)」などを段落の前に付記すべき。	すべて目指す姿の描く際の背景や現状を表しており、②以降と同列に記述するのはおかしいため。	大阪市	2036
全体			一番始めの項目の「○」と二番目以降の「○」の表現を変えてはどうか。例えば、一番始めを●とし二番目以降を○とする。	一番始めの○は、現状を述べており、二番目以降は、目指す姿を述べている。この違いを明確にする意味で○の表示を変えたら。	徳島県	2037
全体		各節で○印で並記し、一つ目は現状、二つ目以降で目指す姿。	各節の一つ目の○印を削除、もしくはより分かりやすく区分する。	現状と目指す姿が混在している。区分して示さないと、読み手に誤解を与える。	大阪府	2038

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
1	1	2	「関西ブランド憲章(仮称)」	簡潔な説明を添える	憲章の内容が不明なため	和歌山県	3001
1	1	2	②圏域全体で質の高い地域づくりを行うため、「関西ブランド憲章(仮称)」とこれに基づく地域ごとの共通理念を定め、活力あるまちづくり、ものづくり、ひとづくりを推進する。	削除	「関西ブランド憲章」がどのようなものか不明。地域づくりの指針のようなものを意味しているように見えるが、別に憲章をつくる必要性はないのではないか	兵庫県	3002
1	1	3	地域共通ファンド	(削除)	地域共有ファンドの内容が不明	大阪府	3003
1	1	3	ライフスタイル等の取組みを特区制度による規制緩和	ライフスタイル等の取組みを特区制度等による規制緩和	適用する制度について、限定した表現をしない方がよいと考える。	京都市	3004
1	2	2	文化創造や交流の場ともなるような新たな歴史・文化資産等	例示を挙げる	具体的にどのようなものをさすのかわかりにくい	和歌山県	3005
1	2	2	歴史・文化資産を拠点として、文化創造や交流の場ともなるような新たな歴史・文化資産の創出を進めることにより、我が国の歴史文化やアイデンティティを国の内外に積極的に発信する。	歴史・文化資産が、文化創造や交流の場ともなるよう、各地の隠れた歴史・文化資産なども活用し、	「新たな」「創出」の内容が不明で、適切な表現に改めるため	大阪府	3006
1	2	2	歴史・文化資産を拠点として、文化創造や交流の場ともなるような新たな歴史・文化資産の創出を進めることにより、我が国の歴史文化やアイデンティティを国の内外に積極的に発信する。		文章全体として、文脈が繋がらず、意味するところがうまく伝わっていない。	京都市	3007
1	2	4	重点的に歴史的施設の復元(復元)、や歴史的風致をもつまちづくり等を推進する地区については、面的に都市公園として指定するなどし、地域づくりを支援する。	重点的に歴史的施設の復元(復元)、や歴史的風致をもつまちづくり等を推進する地区については、面的に都市公園として整備するなどし、地域づくりを支援する。	「都市公園」は「指定」の概念はなく、都市公園法における最も近い用語は「設置」だが文脈にふさわしくないため、一般的な「整備」としてはどうかと考えるため	大阪市	3008
1	2	4	面的に都市公園として指定する	-	内容が不明。歴史を活かした地域づくり支援の例示としては一般的でないのではないか	和歌山県	3009
1	2	4	重点的に歴史的施設の復元、歴史的風致をもつまちづくり等を推進する地区については、面的に都市公園として指定するなど、地域づくりを支援する。	重点的に歴史的施設の復元、歴史的風致をもつまちづくり等を推進する地区については、既存事業の拡充や新たな事業の創設などにより、地域づくりを支援する。	歴史まちづくり法に基づき、歴史的風致維持向上計画地区内では、都市公園事業の拡充や、新たに歴史的環境形成総合支援事業事業が実施されるが、道路や住宅地などを含む計画地区そのものを面的に都市公園に指定することは不可能ではないか。	兵庫県	3010
1	2	7	メッカ	中心地	意味は通じるが語句選択として適切でない。(イスラム教最大の聖地)	大阪府	3011
1	3	3	高速道路網	「高速道路ネットワーク」に修文されたい。	語の統一のため。	整備局	3012

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
1	3	3	関西国際空港と主要観光地間及び主要観光地同士をつなぐ高速道路網をはじめ陸海空の交通ネットワークを整備することにより、広域的な周遊観光ルートを形成するとともに、・・・	関西国際空港と主要観光地間及び主要観光地同士をつなぐ 高規格幹線道路や新幹線等 高速道路網をはじめ陸海空の交通ネットワークを整備することにより、広域的な周遊観光ルートを形成するとともに、・・・	高速道路網だけでなく、主要観光地同士をつなぐ舞鶴若狭自動車道や北陸新幹線等の交通ネットワーク整備も必要	福井県	3013
1	3	3	・・・関西の各地域や関西に隣接する地域がもつ観光資源を連携させ・・・	・・・関西の各地や 他の圏域がもつ 観光資源を連携させ・・・	隣接圏域だけでなく全国を視野に入れた広域観光圏域の形成を図るべき。	関経連	3014
1	3	3	関西国際空港と主要観光地間及び主要観光地同士をつなぐ繋ぐ高速道路網をはじめ陸海空の交通ネットワークを整備することにより、広域的な周遊観光ルートを形成するとともに、交通アクセスの不便な観光地を解消し、関西の各地域や関西に隣接する地域がもつ観光資源を連携させ、一体となってアピールすることで観光地相互の魅力を高め、相乗効果により広域的な周遊観光を活性化させる。	関西国際空港をはじめとする各空港と主要観光地間及び主要観光地同士をつなぐ繋ぐ高速道路網をはじめ陸海空の交通ネットワークを整備することにより、広域的な周遊観光ルートを形成するとともに、交通アクセスの不便な観光地を解消し、関西の各地域や関西に隣接する地域がもつ観光資源を連携させ、一体となってアピールすることで観光地相互の魅力を高め、相乗効果により広域的な周遊観光を活性化させる。 あわせて首都圏等の人口集積地と各空港との航空ネットワークの充実により他圏域からの観光客を呼び込む。	現在、航空関係は関西国際空港に関する内容しか記載していないが、関西全体の広域観光を活性化させるためには、国際観光だけでなく国内観光も重視すべきであることから、その他の空港も含めて活用・充実を図るべきである。特に、全国計画p77に東京国際空港容量の増加による首都圏と各地域との航空ネットワークの拡充が記載されていることも踏まえ、首都圏等人口集積地との航空ネットワークの充実を図ることにより、圏域外からの多様な観光ルートへのニーズに対応していくことを記載すべき	兵庫県	3015
1	3	4	・・・圏域内や他圏域、海外の容易で快適な移動を可能にするユビキタス環境の整備等により、外国人観光客を誘致する。	圏域内や他圏域 を含めた日本国内における 容易で快適な移動を可能にするユビキタス環境の整備等により、外国人観光客を誘致する。	ユビキタス環境の整備を他圏域、海外で実施するかのような誤解を与えるため。	大阪市	3016
1	3	4	ユビキタス環境の整備	-	内容が不明	和歌山県	3017
1	3	4	観光ルートの整備	観光ルートの設定	整備だけに限らないため。	大阪府	3018
1	3	4	海外 の容易で快適な移動を可能にする	海外への 容易で快適な移動を可能にする	文脈から推察すると「へ」が抜けている。	京都市	3019
1	3	5	ユニバーサル化する	国際化に対応させる	一般的な表現に	和歌山県	3020
1	3	追加項目		関西圏域内外への魅力発信のため、世界レベルの文化、スポーツ施設を整備する	堺市は、臨海部において、日本最大規模のサッカーナショナルトレーニングセンターの整備を進めている。	堺市	3021
2	1	1	産業構造の改善・・・	産業構造の変革・・・	表現の適正化	近畿経済産業局	3022

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	2	1	東京経由ではなく関西からアジアや世界に発信する。	東京経由ではなく 関西から直接アジアや世界に発信する。	前文で東京一極集中の実状を記載しておく等をしないと東京経由が問題となる理由が読みとれないため。	三重県	3023
2	2	3	③機関毎に案内表示が異なる類似施設の統一サイン化等など、ユーザーサイドの視点で、利用しやすい情報提供の環境を整備する。	削除	情報発信力の強化とは関係がないため。	三重県	3024
2	2	3	(全体)	-	「(2)情報発信力の強化」に位置付けるには違和感がある	和歌山県	3025
2	3	1	「和の文化」を象徴する有形・無形の資産を	「 日本 和の文化」を象徴する有形・無形の資産を	神戸等の洋風建築等も日本文化となっているため。	三重県	3026
2	3	3	文化に関する国の機関の誘致・充実強化を図る。	誘致⇒立地	国土交通大臣の策定で、「誘致」はおかしい。	関西広域機構	3027
2	4	1	・・・既存ネットワーク・料金施策の有効活用等により・・・	・・・高速道路料金の引き下げを始めとする、既存ネットワークの有効活用等により・・・	全国計画第2部第4章第1節の表現に近くなるよう修正した。	徳島県	3028
2	4	1	他の圏域との交流を促進する高速交通ネットワークの整備や既存ネットワーク・料金施策の有効活用等により、産業、観光等の面で北陸、中部、中国、四国の隣接圏域との相互協力関係を深め、これら圏域と一体となった一大経済圏を形成する。	他の圏域との交流を促進する高規格幹線道路や新幹線等高速交通ネットワークの整備や既存ネットワーク・料金施策の有効活用等により、産業、観光等の面で北陸、中部、中国、四国の隣接圏域との相互協力関係を深め、これら圏域と一体となった一大経済圏を形成する。	他圏域との交流を促進する、高規格幹線道路、新幹線等の高速交通ネットワークを文章中に明確に記載すべき	福井県	3029
2	4	1	他の圏域との交流を促進する高速交通ネットワークの整備・・・	他の圏域との交流を促進する新名神高速道路、北陸新幹線、リニア中央新幹線などの高速交通ネットワークの整備・・・	隣接する圏域との連携強化を図る重要な交通基盤は明示すべき。新幹線は大阪・関西までつながることに意義がある。	関経連	3030
2	4	1	他の圏域との交流を促進する高速交通ネットワークの整備や既存ネットワーク	「他の圏域との連携・交流の促進に資する交通ネットワークの整備や既存ネットワークの活用、」に修文されたい。	「高速交通ネットワーク」の定義が不明なこと、交流だけでなく連携(又は連絡)が重要と考えること、及び整備の対象に「高速交通ネットワーク」だけを採りあげる理由が不明のため。	整備局	3031
2	4	1	料金施策の有効活用等により	「高速道路ネットワークの更なる有効活用に向けた料金施策等により」に修文されたい。	料金施策を活用するのではなく、既存の高速道路ネットワークを活用するため。	整備局	3032

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	4	1	(冒頭部)他の圏域との	圏域内や他の圏域との	隣接する圏域との連携強化は、圏域内の連携強化と相まって達成されるものだから	和歌山県	3033
2	4	1	産業、観光等の面で北陸、	産業、観光等の面で、圏域内の連携を強化するとともに、北陸、	隣接する圏域との連携強化は、圏域内の連携強化と相まって達成されるものだから	和歌山県	3034
2	4	1	他の圏域との交流を促進する高速交通ネットワークの整備や既存ネットワーク・料金施策の有効活用等により、産業、観光等の面で北陸、中部、中国、四国の隣接圏域との相互協力関係を深め、これら圏域と一体となった一大経済圏を形成する。	他の圏域との交流を促進する高速交通ネットワークの整備や料金施策による既存ネットワークの有効活用等により、産業、観光等の面で北陸、中部、中国、四国の隣接圏域との相互協力関係を深め、これら圏域と一体となった一大経済圏を形成する。	全国計画の表現に合わせて整理する(第4章第1節(1)、第3節(2))	神戸市	3035
2	4	1	・・既存ネットワーク・料金施策の有効活用等により、産業、・・	・・料金施策等による既存ネットワーク・ 料金施策 の有効活用等により、産業、・・	料金施策は既存ネットワークを有効活用するためのスキームの一つで、併記されるものではなく、国土形成計画p.73.6行目の記述に合わせる。	兵庫県	3036
2	4	3	隣接圏域の特色	地域の特色	圏域内の交流についても言及すべき	和歌山県	3037
2	4	3	隣接圏域との交流人口	圏域内や隣接圏域との	圏域内の交流についても言及すべき	和歌山県	3038
2	4	タイトル	隣接する圏域との連携強化	圏域内及び隣接する圏域との連携強化	隣接する圏域との連携強化は、圏域内の連携強化と相まって達成されるものだから	和歌山県	3039
2	5	1	常在において	常時において	より一般的な表現を使用	大阪府	3040
2	5	1	首都圏が大規模な被害を受けた場合に、諸機能において相当規模の集積を抱える圏域として、常在において経済面等でバックアップ機能を発揮できるよう、交通・情報通信基盤、物流中枢機能等、代替機能を果たしうる既存インフラの積極的な活用・充実を図る。	首都圏が大規模な被害を受けた場合に、諸機能において相当規模の集積を抱える圏域として、常在において経済面等でバックアップ機能を発揮できるよう、交通・情報通信基盤、物流中枢機能等、代替機能を果たしうる 既存 インフラの積極的な活用・充実・ 整備促進 を図る。	首都圏のバックアップ機能を発揮させるためには、既存インフラの活用・充実だけでなく、東海道新幹線の代替補完機能を有する北陸新幹線等の整備促進を進めることが必要	福井県	3041
2	5	1	常在において経済面等でバックアップ機能を発揮できるよう、	常に経済面等でバックアップ機能を発揮できる状態にあるために、	「常在において」を平易な表現に	和歌山県	3042

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	5	1	首都圏が大規模な被害を受けた場合に、諸機能において相当規模の集積を抱える圏域として、常在において経済面等でバックアップ機能を発揮できるよう・・・	(「修正前の文章」で記載を行う) 首都圏が大規模な被害を受けた場合に、国会、行政、経済等の我が国を支える中枢機能が支障なく継続的に機能できる組織体制や・・・	関西には、首都圏が壊滅的な被害を受けた場合、速やかに首都機能を代替することが可能な多様な機能が備わっている。	京都府	3043
2	5	1	「国会、行政、経済等の我が国を支える中枢機能が支障なく継続的に機能できる組織体制や」の文言が見え消しで削除されている。	左記の文言を削除せずに残す。	まず①では、 <u>政府機能</u> が継続的に機能できる組織体制について記述しておくべきであると考えため。(次の②では <u>民間企業</u> 等に対する取組について記述)	兵庫県	3044
2	5	3	「基幹的・・・、複数の公的機関・民間事業者等がそれぞれに策定するBCP(業務継続計画)間の連携強化を通じ、関係機関が連携して災害に強い関西の実現を目指す。」	「基幹的・・・、 <u>関西圏</u> の公的機関・民間事業者等、 <u>それぞれのBCM(業務継続マネジメント)</u> 間の連携を強化することにより、 <u>圏域全体の諸機能が途絶することなく継続可能な災害に強い関西を実現する。</u> 」	・「連携」の主旨の内容の重複を避け、具体的に記述 ・用語として「BCP」よりも「BCM」の方が適切 ※BCM・・・BCPの策定・運用・見直しまでの戦略的な運営のこと	兵庫県	3045
2	5	タイトル	首都圏のバックアップ機能の確立	首都 <u>機能圏</u> のバックアップ <u>機能の確立</u>	バックアップするのは首都圏そのものではなく、首都の政府機能をはじめとする中枢機能	兵庫県	3046
2	6	1	(6) 首都機能移転候補地の環境整備	復活	全国計画にも記述があることから、環境整備についての当記述は残してもよいのではないかと。	三重県	3047
2	6	1	—首都機能移転候補地の環境整備 ①関西と中部にまたがり、歴史文化が集積する等、他にない特徴と高いポテンシャルを有する「三重・畿央地域」について、高速交通網の整備など、候補地にふさわしい環境の整備を進める。	首都機能移転候補地の環境整備 ①関西と中部にまたがり、歴史文化が集積する等、他にない特徴と高いポテンシャルを有する候補地について、高速交通網の整備など、候補地にふさわしい環境の整備を進める。	国土形成計画(全国計画)における表現に照らし、問題はないと思われるため。	滋賀県	3048

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	6	1	全文削除 (6)首都機能移転候補地の環境整備 ①関西と中部にまたがり、歴史文化が集積する等、他にない特徴と高いポテンシャルを有する「三重・畿央地域」について、高速交通網の整備など、候補地にふさわしい環境の整備を進める。	削除された文章の復活をお願いします。 (6)首都機能移転候補地の環境整備 ①関西と中部にまたがり、歴史文化が集積する等、他にない特徴と高いポテンシャルを有する「三重・畿央地域」について、高速交通網の整備など、候補地にふさわしい環境の整備を進める。	○国会等移転については、全国計画にも記述がされており、近畿圏の広域地方計画でもその内容は位置づけされるべきである。 ○国会等移転審議会答申(H11.12.20)は、 「 三重・畿央地域 」は、 他の地域にはない特徴を有しており、将来新たな高速交通網等が整備されることになれば、移転先候補地となる可能性がある。 としており、高速交通網等の環境の整備は候補地として解決すべき課題となっているため、広域地方計画に位置付けていただきたい。	奈良県	3049
2	6	1	「首都機能移転候補地の環境整備」が削除されている。	「削除前の文章で記載」を行う。	・削除された理由を示していただきたい ・関係府県等において首都機能移転に係る取組を行っており、記載することが必要。	京都府	3050
3	1	1	多様で層の厚いものづくり基盤技術、大学・研究機関等の集積を活用し、産学官が連携した各種事業化活動、研究開発活動の支援を行い、産業クラスターの形成を図ること等により、イノベーションを進め、バイオ・ライフサイエンス、未来型情報家電、ロボット等の次世代産業分野やコンテンツ産業等のクリエイティブ産業において、関西地域が世界をリードする新産業の集積地となる。	多様で層の厚いものづくり基盤技術、大学・研究機関等の集積を活用し、 圏域内外 の産学官が連携した各種事業化活動、研究開発活動の支援を行い、産業クラスターの形成を図ること等により、イノベーションを進め、バイオ・ライフサイエンス、未来型情報家電、ロボット、 エネルギー 等の次世代産業分野やコンテンツ産業等のクリエイティブ産業において、関西地域が世界をリードする新産業の集積地となる。	関西が世界をリードする新産業の集積地となるためには、例示してある次世代産業分野の他、原子力・エネルギー分野等、圏域内外の産学官が連携した研究開発も必要	福井県	3051
3	1	1	集積地となる	集積地を目指す	将来像として記載しているため	近畿経済産業局	3052

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	1	3	次世代スーパーコンピュータ等の優れた計算科学技術を有する高度な研究機関や世界レベルの高水準な大学の集積を活用し、国内外の優秀な研究者や企業の集積を図り、知の拠点を形成する。	次世代スーパーコンピュータやSPRING-8を中核とした研究教育拠点の形成、iPS細胞研究センター等の医療、エネルギーに関する研究機関等の集積を更に進め、独創的研究を促進する。	3-5-1、3-5-3と重複表記のため、統合し、表現を修正	近畿経済産業局	3053
3	1	4	アジアをはじめとするグローバルな産業戦略に取り組むことにより、企業活動の活発化、市場の拡大によるビジネスマッチングの促進を図る。	アジアをはじめとするグローバルな産業戦略に取り組むことにより、企業活動の活発化、市場の拡大による関西企業と海外企業とのビジネスマッチングの促進を図る。	対象の明確化	近畿経済産業局	3054
3	1	5	⑤高度教育機関を中心とした知的クラスター	⑤高度教育機関を中心とした知的クラスター	用語としては高等教育機関ではないか。	三重県	3055
3	1	5	知的クラスター創成事業	知的クラスター創成	「知的クラスター創成事業」は文部科学省の一事業であり、特定事業の支援は馴染まないため	大阪府	3056
3	1	6	企業立地促進法に基づき、地域の強みと特性を踏まえた個性ある地域の産業集積の形成・活性化を支援する。	地域による主体的かつ計画的な企業立地促進等の取り組みを行うため、地域の強みと特性を踏まえた個性ある産業集積の形成・活性化を支援する。	個別法律名の削除による表現の修正および表現の適正化	近畿経済産業局	3057
3	2	1		ハード的な連携強化のみ記述されているが、ソフト的な連携強化について触れる必要はないのか。		徳島県	3058
3	3	1	大阪湾バイエリアの製造業の再編・強化を図るとともに、世界最大規模の新たな複合物流拠点等の国際物流機能の集積を図る	大阪湾バイエリアの製造業の再編・強化を図るとともに、ターミナルと一体的に機能する物流拠点等の国際物流機能の集積を図る	用語による誤解を招かないため、国交省が策定する「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」(現在変更作業中)等において用いられる用語を使用すべきである	大阪市	3059
3	3	2	環境豊かな地域づくり	人と海が触れ合う環境豊かな地域づくり	「環境」が水質などの物理的意義に止まるものでないことを改めて意識するための形容詞の添加。	関西広域機構	3060
3	3	2	……土地利用規制の見直し等により……	……土地利用規制の見直しや立地用地の創出等により……	ゾーニングを踏まえた集積促進には、土地区画整理事業などによる立地用地の確保も必要である。	関経連	3061
3	3	2	……土地利用規制の見直し等により集積・高度化……	……土地利用規制の既存制度を活用した集積・高度化	現行の容積率をフルに使い切っているわけではないため	兵庫県	3062

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	3	3	大阪湾バイエリア等の臨海部立地産業	大阪湾バイエリア等に立地する産業	「バイエリア」と「臨海部」は同じ意味であるため	近畿経済産業局	3063
3	3	3	立地促進を図る	立地を促進する	「図る」という言葉が、前段階に書かれているため	近畿経済産業局	3064
3	4	1	・・・関西国際空港や阪神港をはじめとした港湾における・・・	・・・関西国際空港や阪神港、日本海沿岸港湾における・・・	大阪湾バイエリアのみに目を向けた表現となっており、舞鶴港など日本海側港湾が抜け落ちている。	京都府	3065
3	4	1	①成長著しいアジアをはじめとする世界とのゲートウェイを担うため、関西国際空港や阪神港をはじめとした港湾における航空・海上ネットワークの拡充とともに、	①成長著しいアジアをはじめとする世界とのゲートウェイを担うため、関西国際空港や阪神港をはじめとした港湾における航空・海上ネットワークの拡充とともに、	原案の「空港」の削除に対応して「航空」を削除	整備局	3066
3	4	2	国際物流拠点と圏域内外の物流拠点・生産拠点を結ぶ高速道路ネットワーク整備や国際標準コンテナに対応した道路ネットワーク整備、鉄道貨物輸送の強化を推進する。	国際物流拠点と圏域内外の物流拠点・生産拠点を結ぶ高規格幹線道路等高速交通道路ネットワーク整備や国際標準コンテナに対応した道路ネットワーク整備、鉄道貨物輸送の強化を推進する。	圏域内外の物流・生産拠点を結ぶため、高速道路整備だけでなく、高規格幹線道路等、高速交通ネットワーク整備の推進が必要	福井県	3067
3	4	2	国際物流拠点と圏域内外の物流拠点・生産拠点を結ぶ高速道路ネットワーク整備や国際標準コンテナに対応した道路ネットワーク整備、鉄道貨物輸送の強化を推進する。	「国際物流拠点と圏域内外の物流拠点・生産拠点を結び、国際標準コンテナに対応した、道路ネットワーク整備、鉄道貨物輸送の強化の推進により、物流の効率化、環境負荷の低減等を目指す。」に修文されたい。	・国際標準コンテナに対応した道路ネットワークに高速道路ネットワークが含まれるため。 ・当該項目においては、目指す目標が示されていないため。(他の項目においては示されている)	整備局	3068
3	4	2	国際物流拠点と圏域内外の物流拠点・生産拠点を結ぶ高速道路ネットワーク整備や国際標準コンテナに対応した道路ネットワーク整備、鉄道貨物輸送の強化を推進する。	国際物流拠点と圏域内外の物流拠点・生産拠点を結ぶ高速道路ネットワーク整備や料金施策による既存高速ネットワークの有効活用、国際標準コンテナに対応した道路ネットワーク整備、鉄道貨物輸送の強化を推進する。	全国計画の表現に合わせて整理する(第4章第1節(1)、第3節(2))	神戸市	3069

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	4	3	東アジア交流圏の形成に向け、日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで、北東アジア、ロシア等と関西とを最短で結ぶ物流ネットワークを構築するとともに、圏域内外の連携・交流を強化する。	東アジア交流圏の形成に向け、日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる <u>港湾機能の強化やそれらへのアクセス向上のための高規格幹線道路等</u> 交通基盤の整備を図ることで、北東アジア、やロシア等と関西とを最短で結ぶ物流ネットワークを構築するとともに、圏域内外の連携・交流を強化する	関西がアジアゲートウェイとなるためには、日本海側港湾の機能強化、それらへのアクセス向上のため高規格幹線道路等の整備が必要	福井県	3070
3	4	3	……日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで、……	……日本海沿岸の港湾を <u>ゲートウェイとして活用するため、対岸諸国との直行航路の開設、国内交通基盤の整備</u> を図ることで、……	北東アジアとの最短物流ルートを構築するためには、直行航路の開設が不可欠である。	関経連	3071
3	4	3	…日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで…	…日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる物流・交通基盤の整備を図ることで…	内容に合わせた字句修正	京都府	3072
3	4	3	東アジア交流圏の形成に向け、日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで、北東アジア、ロシア等と関西とを最短で結ぶ物流ネットワークを構築するとともに、圏域内外の連携・交流を強化する。	東アジア交流圏の形成に向け、日本海沿岸の <u>ゲートウェイとなる港湾等の機能強化や日本海沿岸を一体化する高速道路の整備に加え、日本海沿岸と太平洋側を結ぶ高速道路ネットワークの整備により</u> 、北東アジア、ロシア等と関西とを最短で結ぶ物流ネットワークを構築するとともに、圏域内外の連携・交流を強化する。	全国計画においても、ゲートウェイとなる港湾・空港の機能強化だけでなく、これらと物流拠点、生産拠点、拠点都市を結ぶ高速道路ネットワーク整備の必要性、日本海側と太平洋側を結ぶネットワーク整備の必要性が記載されている。(P41、P71、P73 他) 関西及びその周辺地域においては、日本海沿岸を結ぶ高速道路、日本海側と太平洋側を結ぶ高速道路が脆弱であるため、戦略として明確に打ち出すことが必要である。 5月13日の近畿圏広域計画検討会議の秋山議長コメントにおいても、日本海側を結ぶ道路整備や日本海側と太平洋側を結ぶ道路整備の必要性が指摘されている。	兵庫県	3073

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	4	3	東アジア交流圏の形成に向け、日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで、北東アジア、ロシア等と関西とを最短で結ぶ物流ネットワークを構築するとともに、圏域内外の連携・交流を強化する。	中国や韓国をはじめとする北東アジアが急速に台頭する中で、交流のゲートウェイとして重要性の高まる東アジア交流圏の形成に向け、日本海沿岸地域の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで、北東アジア、ロシア等と物流機能を充実するとともに、日本海側に位置する高速道路を整備し、太平洋側に位置する高速道路ネットワークとを結びつけることで、対岸諸国と関西圏とを最短で結ぶ物流ネットワークを構築するとともに、圏域内外の連携・交流を強化する。	グレーター近畿の均衡ある発展を考える上で、日本海側と太平洋側の一体的な整備を明確に打ち出す必要があるため。	鳥取県	3074
3	4	3	…日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる交通基盤の整備を図ることで…	…日本海沿岸の港湾等ゲートウェイとなる物流・交通基盤の整備を図ることで…	内容に合わせた字句修正	京都府	3075
3	4	4	…深化させることにより、一体的かつ効率的で利便性の高い大阪湾諸港の運営を目指す。	…深化させることにより、将来の大阪湾ポートオーソリティ設立を視野に入れて、一体的かつ効率的で利便性の高い大阪湾諸港の運営を目指す。	将来のポートオーソリティ設立を視野に入れた取り組みとすることが適當。主要プロジェクトの記述とも整合する。	関経連	3076
3	4	5	…深夜貨物便の就航促進を含めた国内航空ネットワークの拡充を図り、…	…深夜貨物便の就航促進を含めた国内外航空ネットワークの拡充を図り、…	国際線の航空ネットワークの拡充も必要である。	関経連	3077
3	4	5	国内航空ネットワーク	航空ネットワーク	国内に限定されないのではないかと	和歌山県	3078
3	4	5	…国際物流拠点の形成を目指す。	…国際物流拠点の形成を目指す。また、関西3空港をはじめとする航空ネットワークの充実等により圏域内外の連携・交流を強化する。	現在、航空関係は関西国際空港に関する内容しか記載していないが、航空ネットワークとしては、その他の空港も含めて活用・充実を図ることにより、多様な航空ニーズに対応していく必要があり、その旨記載すべき	兵庫県	3079
3	5	1	大阪彩都	彩都	正式名称で表示	大阪府	3080

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
3	5	3	次世代スーパーコンピュータやSPRING-8を中核とした研究教育拠点の形成や、iPS細胞研究センター等の医療、エネルギーに関する研究機関等の集積を更に進め、独創的研究を促進する。また、世界有数の研究開発や最先端技術を担い地域イノベーションを促す人材育成の拠点を目指し、明日の日本を支える創造性豊かな人材を育成するとともに、アジアからの留学生や研究者との交流の活性化を図る。	世界有数の研究開発や最先端技術を担い地域イノベーションを促す人材育成の拠点を目指し、明日の日本を支える創造性豊かな人材を育成するとともに、アジアからの留学生や研究者との交流の活性化を図る。	3-1-3, 3-5-1と重複表記のため、表現を修正	近畿経済産業局	3081
3	5	4	アジア太平洋地域に関する情報収集や研究機関の集積を促進し、人と情報の交流促進・発信力を高め、政治、経済、文化、学術等の国際交流を促進する。	削除	個々の具体的な戦略が列記されている中で、④は各項目の総括となっているため	近畿経済産業局	3082
3	5	6	「アジア人財基金構想」による・・・	「アジア人財資金構想」による・・・	語句の訂正。	近畿経済産業局	3083
3	5	7	関西が先進的に取り組んできた環境、 や 防災等に関する都市課題解決の技術やノウハウを、アジアをはじめとする世界に提供し、世界の発展に貢献する。	関西が先進的に取り組んできた環境、 や 防災等に関する都市課題解決の技術やノウハウを、アジアをはじめとする世界に提供し、世界の発展に貢献する。	防災に関する技術で足りるのでは？	整備局	3084
3	5	5、6			3-5-5と3-5-6の順序の入れ替え	近畿経済産業局	3085
4	1	1	圏域全体で京都議定書目標達成計画に位置づけられている削減目標の確実な達成に向け、圏域独自の削減目標を定め、CO2発生量削減に向けた行動を行う。	圏域全体で京都議定書目標達成計画に位置づけられている削減目標の確実な達成に向け、 圏域独自の削減目標を定め 、CO2発生量削減に向けた行動を行う。	各府県の削減目標と圏域独自の削減目標との整合、目標設定の考え方やその過程、目標を達成するための具体的な削減対策等が示されていないため削除	三重県	3086

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	1	1	……削減目標の確実な達成に向け、圏域独自の削減目標を定め、CO ₂ 発生量削減に向けた行動を行う。	……削減目標の確実な達成に向け、 圏域としても官民一体となったCO₂発生量削減 に向けた行動を行う。	排出削減目標は、そのアプローチの方法を含めて国レベルの課題であり、圏域ごとに独自に目標を定める意味はない。企業活動も圏域を越えており、圏域ごとの目標は不適當である。	関経連	3087
4	1	1	CO ₂ 発生量	CO ₂ 排出量	より適切な表現に訂正した	滋賀県	3088
4	1	1	圏域独自の削減目標を定め、	削除	各県等において独自に定めている削減目標との関係が不明確	和歌山県	3089
4	1	1	(1)地球温暖化対策への対応 ①圏域全体で京都議定書目標達成計画に位置付けられている削減目標の確実な達成に向け、圏域独自の削減目標を定め、CO ₂ 発生量削減に向けた行動を行う。	(1)①全削除 又は (1)①文中、「圏域独自の削減目標を定め、」を削除	①現在、温対法においてCO ₂ 排出量の報告が各事業者毎(エネルギー起源二酸化炭素については事業所毎)に義務づけられており、これを地域ごとに管理することに意味はない。(大きな意味では国全体で二酸化炭素の量を1990年比 6%削減という目標が掲げられており、京都議定書目標達成計画において目標達成に向け対策が施されているところ) ②圏域全体のCO ₂ 排出量を把握することは難しいため。温対法で報告が義務づけられる特定排出者(省エネ法の1種+2種+荷主)のみカウントは可能だが、圏域の産業部門と運輸部門の一部にすぎない。また、荷主については事業所毎ではなく、企業毎の公表制度となっており、地域別のデータは一律に公表されていない。 ③CO ₂ 排出量に目標値を定め、圏域全体でマネジメントすることは、自治体の企業誘致等の産業政策にも間接的な影響が懸念されるため。(近畿地域のみCO ₂ の規制強化を行うことによる産業界への負担増加が、将来の管内の工場立地等への悪影響の可能性もある。事前に自治体と協議を行った方がよいのではないかと。)	近畿経済産業局	3090

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	1	1	①圏域全体で京都議定書目標達成計画に位置づけられている削減目標の確実な達成に向け、圏域独自の削減目標を定め、CO2発生量削減に向けた行動を行う。	①圏域全体で京都議定書目標達成計画に位置づけられている削減目標の確実な達成に向け、 圏域独自の削減目標を定め 、CO2発生量削減に向けた行動を行う。	府県ごとに既定の目標値がある中で、本計画で別の目標値を記述するのがいいのかどうか、担当部局で検討が必要。	奈良県	3091
4	1	追加項目		地球温暖化に伴う気候変化の予測には幅があるため、モニタリングを強化し今後の観測データや知見の蓄積、増大する外力に対する災害リスクを評価した上で、計画を修正していく順応的なアプローチが重要。	「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」を受け、河川局として今後、本答申を踏まえた施策を推進させていくことになっているため以下の内容を記載してください。	整備局	3092
4	1	2	排出権取引に貢献できる宅配便の普及	削除	記載が不十分で、宅配便をあえて例示する理由が不明。 宅配便は排出権取引に貢献できるのか疑問	兵庫県	3093
4	1	追加項目		④企業、NPOと連携した環境教育の実施により、次代を担う人材の育成に努める。	堺市は、本年7月に環境モデル都市候補市に選出され、今後、低炭素型社会の実現へ向け、近畿圏のみならず全国・世界のまちづくりをリードするべく、取組を進めていくため。	堺市	3094
4	2	1	環境負荷の少ないライフスタイル・企業経営へ転換していくため、低公害車の普及、公共交通機関の利用促進、自動車の流入規制、高速道路の有効利用等の適切な組み合わせにより都市環境の改善を図る。	環境負荷の少ないライフスタイル・企業経営への転換を図るため、低公害車の普及、公共交通機関の利用促進や 道路等の交通基盤の整備 、自動車の流入規制、有料道路の料金施策等による都市環境の改善を図る。	第5節(2)で示すように、道路等の整備により慢性的な渋滞が解消されるため、都市環境の改善に寄与する。	大阪市	3095
4	2	1	①環境負荷の少ないライフスタイル・企業経営へ転換していくため、低公害車の普及、公共交通機関の利用促進、自転車の流入規制、高速道路の有効利用等の適切な組み合わせにより都市環境の改善を図る	①環境負荷の少ないライフスタイル・企業経営へ転換していくため、 低炭素型居住環境の普及 、低公害車の普及、公共交通機関の利用促進、自転車の流入規制、高速道路の有効利用などの適切な組み合わせにより都市環境の改善を図る	同上	堺市	3096
4	2	1	高速道路の有効利用	「高速道路ネットワークの更なる有効活用」に修文されたい。	語の統一のため。	整備局	3097

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	2	2	エネルギー効率がよく環境負荷の少ない建築物への更新	エネルギー効率がよく環境負荷の少ない建築物への誘導	兵庫県では、一定規模以上の建築物の新築・改築等の際に、建築物総合環境性能評価の実施を義務づけ、環境に配慮した建築計画への誘導を図っているが、既存の建築物の更新(建替え)を直接実施することは不可能であるため。	兵庫県	3098
4	2	2	環境用水による「せせらぎ」の創出、公共空間等の・・・	環境用水による「せせらぎ」の創出、河川水質の改善、公共空間等の・・・	事業項目としての追加	整備局	3099
4	2	2	水辺空間の活用を図るなど等により、都市部のヒートアイランド現象を緩和させる。		水辺空間の活用を図ると都市部のヒートアイランド現象を緩和させるのでしょうか？	整備局	3100
4	2	追加項目	なし	公共用水への影響を低減するため、下水道の高度処理化や合流式下水道の改善などを進める。	・080228案では、左記のとおり記載があったが、080314案では削除されている。 ・都市環境の改善には、水質改善も必要不可欠である。	大阪市	3101
4	3	1	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)・適正分別(リファイン)・熱利用(リコンバート・トゥ・エナジー)の5Rの一層の促進により、ごみを削減する。	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)・ 適正分別(リファイン) ・ 熱利用(リコンバート・トゥ・エナジー) の5Rの一層の促進により、ごみを削減する。	環境省、経済産業省等で推進しているのは「3R」であり、「3R」の推進で良いと考える。	三重県	3102
4	3	1	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)・適正分別(リファイン)・熱利用(リコンバート・トゥ・エナジー)の5Rの一層の促進により、ごみを削減する。	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)の3R、特に発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)の一層の促進により、ごみを減量する。	・ごみの削減には、3Rの中でも特に上流の発生抑制・再利用の一層の促進が有効と考える。 ・適正分別は、再利用・再資源化を前提とした行動であり、並列して記載するものではない。また、市町村に処理責任がある一般廃棄物においては、最適な分別収集の方法を選択する権限があるため、この計画にあえて記載する必要はないと考える。 ・熱利用とはごみを焼却した際の余熱利用のことであって、直接的にごみの削減にはつながらないこと、また、熱利用すれば、ごみを削減する必要がないと理解されることも考えられるため、ここに記載することは不適当であると考ええる。 ・以上から修正案が適当であると考ええる。 ・なお、原案どおり5Rとする場合は、趣旨について明らかにしたいとの要望があります。	大阪市	3103

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	3	1	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)・ <u>適正分別(リファイン)・熱利用(リコンバート・トウ・エナジー)</u> の5Rの一層の促進により、ごみを削減する。	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)の <u>3R</u> を更に促進し、ごみを削減する。	3Rが最終目標であって、後の2つはそのための手段であり、5Rとして列挙することは相応しくない。 国は「3Rの推進」を基本としており、スローガンが異なることは混乱を生じさせるのではないかと。また、5Rは、3Rに何を加えるかについて、様々な説があり、広域計画に盛り込むことは適切でないと考える。 戦略は「3Rの推進」であり、「適正分別と熱利用」は戦術。	奈良県	3104
4	3	1	発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)・適正分別(リファイン)・熱利用(リコンバート・トウ・エナジー)の5Rの一層の促進により、ごみを削減する。	発生抑制(リデュース)・再使用(リユース)・再生利用(リサイクル)の3Rの一層の促進により、循環型社会の形成を推進する。	・5Rについては、何を5Rとするか(RefuseやReform、Repairが入る説もあり)、また優先順位等コンセンサスを得たものではない。また、近畿圏で適正分別、熱利用の促進のために具体的にどう取り組むのか本計画案において明確でない。このため、世界的にもコンセンサスを得ている3Rの記述とする。なお、リデュース、リユースの日本語については、循環基本法第2条に合わせるべき。 ・ReduceとReuseは”ごみの削減”になるが、Recycle以下については”ごみの削減”にはならずごみが出された後の取組であるため。	近畿地方環境事務所	3105
4	3	3	廃棄物及び社会基盤整備で発生する土砂等を適正に処分するため、大阪湾フェニックス計画について、廃棄物埋立護岸建設費に対する排出者負担の導入など、制度を改善し、広域的な連携により支えられた持続可能な事業を推進する。	廃棄物を適正に処分するため、大阪湾フェニックス計画を推進する。	・”フェニックス計画”が現行のものを指しているか、現行計画による処分場閉鎖後のことを指しているのか原案では不明であるが、いずれにしても関係者間における検討・調整も始まっていないと聞いており、このような段階で結論ありきのような書きぶりは不適切。 ・フェニックス計画は土砂を処分することは含まれていないため表現の適正化。	近畿地方環境事務所	3106

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	3	3	廃棄物及び社会基盤整備	「社会基盤整備」を「社会資本整備」に 修正されたい。	社会基盤の語は、定義が不明であり、 語の統一のため。	整備局	3107
4	3	3	発生する土砂等を適正に処分するた め、	「土砂等」を「廃棄物」に修正されたい。 (これと同時に、「廃棄物及び…」は 「産業及び…」等とすることが適当。)	土砂は廃棄物ではなく、有価物(資源) と解するのが一般的であり、廃棄物と同 列に取り扱うことは不適当のため。(大 阪湾フェニックスについては、廃棄物処 理のための埋立地確保等を担っている 所と解している。)	整備局	3108
4	3	3	③…大阪湾フェニックス計画につい て、廃棄物護岸建設費に対する排出 者負担の導入等、制度を改善し、広域 的な連携により支えられた持続可能な 事業を推進する。	③…大阪湾フェニックス計画につい て、 事業制度を改善し 、広域的な連携 により支えられた持続可能な事業として 推進する。	排出者負担の導入が挙げられていま すが、どのような手法で制度を改善する か現時点では決まっておらず、さらに、補 助金にかかる内容となり、財務当局と困 難な調整が懸念されるため、具体的な 表現を削除したい。	整備局	3109
4	3	4	下水道処理場等	下水処理場等	一般的に、「下水処理場」と呼称されて いると考えられる。	京都市	3110
4	3	5	環境への負荷が少なく、森林の保全・ 育成にもつながる国産材の総合的な利 用について、特に都市部及びその周 辺で推進する。	環境への負荷が少なく、森林の保全・ 育成にもつながる国産材の総合的な利 用について、特に 大規模建築物の建 設等が期待できる 都市部及びその周 辺で推進する。	推進の目的を記載する。	三重県	3111
4	3	5	特に都市部及びその周辺で	削除	限定する必要なし	和歌山県	3112
4	3	6	エネルギーを効率的に活用するため、 省エネルギーにかかる新技術の導入 や、太陽光・風力・バイオマス等の 新エネルギーを導入するなどにより、効 率的なエネルギー利用システムを構築 する。	エネルギーを効率的に活用するため、 省エネルギーにかかる新技術の導入 や、太陽光・風力・バイオマス等の 新エネルギーや 次世代エネルギー を 導入するなどにより、効率的なエネル ギー利用システムを構築する。	効率的なエネルギー利用のため、「新 エネルギー利用等の促進に関する特別 措置法」に規定されている太陽光・風 力・バイオマス等の新エネルギーのほ か、二次電池、燃料電池等の次世代エ ネルギーの実用化も必要	福井県	3113
4	4	1	琵琶湖・淀川流域圏、や大阪湾・瀬戸 内海等の広域的な水管理が必要な流 域圏・海域において、住民・学識 者・行政の参画により生態系や水循環 系を総合的に管理するため、水循環 や水質汚濁メカニズム、生態系メカ ニズムを解明する。	琵琶湖・淀川流域圏、や大阪湾・瀬戸 内海等の広域的な水管理が必要な流 域圏・海域において、住民・学識 者・行政の参画により生態系や水循環 系を 総合的に管理するため、の健全 化誘導するため 水循環や水質汚濁メカ ニズム、生態系メカニズムを解明する。	生態系や水循環系を管理するには至ら	整備局	3114

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	4	2	森・川・海のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな大阪湾を回復し、自然と共生した京阪神都市圏を形成する。	森・川・海のネットワークを通じて、美しく親しみやすい豊かな瀬戸内海・大阪湾を回復し、自然と共生した京阪神都市圏を形成する。	現在、瀬戸内沿岸自治体が連携して、瀬戸内再生の取組を進め、国への要望も行っている。大阪湾だけでは、播磨灘側が含まれなくなる。	兵庫県	3115
4	4	3	生態系に配慮した水辺・海辺空間の整備等を連携して行う。	生態系に配慮した水辺空間等の整備を連携して行う。	「海辺空間」は一般的ではないのでは？	整備局	3116
4	4	3	上流域から下流域に至る流域圏を単位とした生態系ネットワークを形成し、健全な水循環を確保するため、優れた自然環境の保全・再生、官民が連携した森林整備、都市内における都市公園をはじめ、屋上緑化、や公共空間の緑化等などによる「都市の森」の整備、生態系に配慮した水辺・海辺空間の整備等を連携して行う。	上流域から下流域に至る流域圏を単位とした生態系ネットワークを形成し、健全な水循環を確保するため、優れた自然環境の保全・再生、官民が連携した森林整備、生態系に配慮した山間域、水域、海域等の整備等を連携して行とともに、都市におかる緑地の増加、都市内における都市公園をはじめ、屋上緑化、や公共空間の緑化等などによる「都市の森」の整備する。	都市緑化の追記など	整備局	3117
4	5	1	全体	(5)の一番	内容的に後半で示す方が適切なため	大阪府	3118
4	5	1	公共事業等地域の開発を行う際には、地域の自然環境の保全に十分配慮するとともに、ビオトープの整備や在来種による緑化を実施するなど等のほか、	公共事業等地域の開発を行う際には、地域の自然環境の保全に十分配慮するとともに、エコロジカルネットワークビオトープの整備や郷土種在来種による緑化を実施するなど等のほか、	ビオトープは個別の造成地などであり、概念的に広い意味が必要。在来種では国内のどこのものを用いてもよいということになり、遺伝子的かく乱の恐れ。	兵庫県	3119
4	5	2	公園や緑地の整備や、官民が連携して、森林、や緑地の整備、生態系に配慮した水辺・海辺空間の整備を行うとともに、	公園や緑地の整備や、官民が連携して、森林、や緑地の整備、生態系に配慮した山間域、水域、海域等水辺・海辺空間の整備を行うとともに、	流域圏を意識した言葉に変更	整備局	3120
4	5	2	水と緑のネットワークを形成するため、公園や緑地の整備や、官民が連携して、森林、や緑地の整備、生態系に配慮した水辺・海辺空間の整備を行うとともに	水と緑のネットワークを形成するため、公園や緑地の整備、官民が連携した森林整備、生態系に配慮した水辺空間等の整備を行うとともに、	・「海辺空間」は一般的なの？	整備局	3121
4	5	2	臨海部や都心部における都市公園の整備、屋上緑化や公共空間の緑化等による「都市の森」の整備や運河の再生を推進する。	都心部等における都市公園の整備、屋上緑化や公共空間の緑化等による「都市の森」の整備や運河の再生を推進する。	・臨海部を併記するのではなく、都市部等にして「等」に含むべき。	整備局	3122

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	5	2	水と緑のネットワーク・・・	森・川・海のネットワーク・・・	語句の統一及び「水と緑のネットワーク」はかわまちづくり事業の1つとしてあり、混合を避けるため。	整備局	3123
4	5	2	・・・ため、公園や緑地の整備や、官民が連携し、森林、緑地の整備、生態系・・・	・・・ため、官民が連携し、公園や緑地、森林の整備など生態系・・・	文章表現の修正	整備局	3124
4	5	3	里地里山等の二次的自然環境や都市域に残された自然環境の保全、外来種の防除等を適切に進める。	里地里山等の二次的自然環境や都市域に残された自然環境の保全、 在来種の継続した生活史を保全するための 外来種の防除等を適切に進める。	外来種除去の理由が不明	整備局	3125
4	5	3	修復・復元	復元	修復は人為的なものを作り直すニュアンスがあり、生態系を元に戻す場合は、復元の方がふさわしいと思われる。	兵庫県	3126
4	5	追加項目 (追加)		④人の生活と密接な関わりを持つ二次的自然環境等、圏域の特徴ある自然環境を地域の資源と捉え、持続的に活用するエコツーリズムを推進する等、自然環境の保全を前提とした地域振興を目指す。	近畿圏の特徴ある自然環境資源を効果的に活用しながら地域振興を進めることが、自然との共生を進める上で必要と考えられるため(平成19年度国土施策創発調査において自然環境資源の分布と活用可能性について検討を行った)	近畿地方環境事務所	3127
4	7	1	より有効な技術の検討・評価、関係機関との事業連携のための連携方針の策定等、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に向けた取組を推進する	山地から海域までの総合的な土砂管理の観点から、安定した河道の維持に努める。また、流域の総合的な土砂管理に向けて、流域の土地利用の変化に伴う土砂流出の変化や河川及び海域における堆積、流入等土砂の挙動に関する調査・研究について関係機関との連携を図る。		整備局	3128
4	7	1	より有効な技術の検討・評価、関係機関との事業連携のための連携方針の策定等、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に向けた取組を推進する。	削除	第2部第4節との関連が不明。	三重県	3129

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	追加項目			<u>(8)自然エネルギーを最大限活用した低炭素型産業構造への転換</u> <u>①世界標準の環境先進型コンビナートの形成に取組み、近畿圏のみならず全国、世界に向けて、低炭素型コンビナートモデルを波及させ、地球規模での低炭素化に寄与する。</u> <u>②太陽光発電所等のクリーンエネルギーの生産施設の集積を図り、低炭素型エネルギー生産都市の構築に取組む</u> <u>③企業間や産官学の連携により、低炭素化に貢献する新技術の開発やエコロジープジネスの創出を図る。</u>	同上	堺市	3130
5	1	1	交通システムの近代化	交通システムの整備・充実	「近代化」の意味がわかりにくい	和歌山県	3131
5	1	1	都市と自然の魅力を同時に享受できる関西の特性を最大限に発揮するため、圏域が有する貴重な自然の保全・活用を図るとともに、京阪神都市圏と日本海側・紀伊半島を結ぶ交通・情報通信基盤等の整備や地方部の交通システムの近代化を図ることにより、多様な人、モノ、情報等の都市と農山漁村の往来を支える。	都市と農山漁村の自然魅力を同時に享受できる関西の特性を最大限に発揮するため、圏域が有する貴重な自然の保全・活用を図るとともに、京阪神都市圏と日本海側・紀伊半島を結ぶ交通・情報通信基盤等の整備や地方部の交通システムの近代化を図ることにより、多様な人、モノ、情報等の都市と農山漁村の往来を支える。	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	3132
5	1	1	京阪神都市圏と日本海側・紀伊半島を結ぶ交通・情報通信基盤等の整備や・・・により、多様な人、モノ、情報等の都市と農産漁村の往来を支える。	京阪神都市圏や首都圏等人口集積地と日本海側・紀伊半島を結ぶ交通・情報通信基盤等の整備や・・・により、多様な人、モノ、情報等の都市と農産漁村の往来を支える。	「都市と自然の魅力を同時に享有できる」という特性を活かして圏域内の交流を増大させることも必要であるが、都市と農産漁村の交流増大を図る戦略としては、圏域外も含めた全国との交流を増大させる視点で記載すべき	兵庫県	3133

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5	1	2	農山漁村での住居・活動等についての多様な情報を集約・一元管理して都市に提供する体制の整備、企業との連携、住宅提供・規制緩和、職業提供・所得保障、必要な基盤整備等により、都市と農山漁村双方のニーズを円滑に結びつけ、二地域居住等、都市と農山漁村の共生・交流を容易にする。	農山漁村での住居・活動等についての多様な情報を集約・一元管理して都市に提供する体制の整備、企業との連携、 未利用住居の確保・提供住宅提供・規制緩和 、職業提供・所得保障、必要な基盤整備等により、都市と農山漁村双方のニーズを円滑に結びつけ、二地域居住等、都市と農山漁村の共生・ 交流を容易に 対流を推進する。	「都市と農山漁村の共生・対流」は用語として確立されており、都市と農山漁村の共生・対流とはグリーン・ツーリズムのほか農山漁村における定住・半定住等も含む広い概念である。都市と農山漁村の共生・対流を推進するため、副大臣会議に関係副大臣で構成されるプロジェクトチームが設置され、都市と農山漁村を双方向で行き交う新たなライフスタイルの実現を目指すこととされている。 農業振興地域における農地の利用については厳格化の方向にあり、宅地提供等他目的に利用することを推進する表現を分かりやすくするため	農政局	3134
5	1	2	住居	滞在		大阪府	3135
5	1	2	一元管理	(削除)	一元管理せずとも多用な情報が入手できれば足りると考えられるため。	大阪府	3136
5	1	2	企業との連携、住宅提供・規制緩和、職業提供・所得保障	(削除)	内容が不明	大阪府	3137
5	1	2	農山漁村での住居・活動等についての多様な情報を集約・一元管理して都市に提供する体制の整備、企業との連携、住宅提供・規制緩和、職業提供・所得保障、必要な基盤整備等により、都市と農山漁村双方のニーズを円滑に結びつけ、二地域居住等、都市と農山漁村の共生・交流を容易にする。	暮らしの中で食と農に親しむ生活を促進するとともに 、農山漁村での住居・活動等についての多様な情報を集約・一元管理して都市に提供する体制の整備や企業との連携、 住まいや仕事の提供、規制緩和など住宅提供・規制緩和、職業提供・所得保障 、必要な基盤整備等により、都市と農山漁村双方のニーズを円滑に結びつけ、二地域居住等、都市と農山漁村の共生・交流を容易にする。	都市農村交流には、まず農に対する理解・関心の広がりが必要。	兵庫県	3138
5	1	3	管理水準	保全機能	担い手不足等に伴い直接低下するのは、水準ではなく、機能ではないか。	岡山県	3139
5	1	タイトル	ハード・ソフトによる都市と自然の魅力の結節	ハード・ソフトによる都市と農山漁村の自然魅力の結節	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	3140

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5	2	1	都心ウォーターフロントの再生、道路、通信等の社会資本整備等	「都心ウォーターフロントの再生、道路、通信等の社会資本整備」に修文されたい。	「社会資本整備等」の“等”が不要と考えられるため。	整備局	3141
5	2	3	個性の異なる大都市間を、鉄道の…の改善等を行いながら、道路、鉄道等の交通基盤で結ぶことにより、	「個性の異なる大都市間を結ぶ交通について、鉄道の…の改善等を行い、円滑な連絡の充実・強化を図ることにより、」に修文されたい。	大都市間は、既に殆どの場合、道路や鉄道で結ばれており、「鉄道の相互乗入れ、慢性的な渋滞対策、交通結節点の改善」は、基本的には結ばれている交通結節点の機能強化であるため	整備局	3142
5	2	5	大都市圏において各都市の個性を活かしつつ、適切な機能配置を行う観点からエリアマネジメントを行う。	-	抽象的で、何をするのかわかりにくい	和歌山県	3143
5	3	1	拠点となる都市へ生活サービス、・産業、・雇用等の都市機能を集積させ、	拠点となる都市へ生活サービスとして「住む」、「働く」、「遊ぶ」、「動く」等・産業、・雇用等の都市機能を集積させ、	都市機能の定義として、分かりやすい表現としたらどうか。	三重県	3144
5	3	1	人口減少下においても暮らしやすい地方都市を形成するため、拠点となる都市へ生活サービス、・産業、・雇用等の都市機能を集積させ、相互補完するとともに、公共交通、道路ネットワークの整備により、周辺地域と有機的に連携した広域的な「生活圏」を形成する。	人口減少下においても活力があり、暮らしやすい地方都市を形成するため、高速交通ネットワークの整備により、地方都市間及び大都市との交流・連携を強化し、また拠点となる都市へ生活サービス、・産業、・雇用等の都市機能を集積させ、相互補完するとともに、公共交通、道路ネットワークの整備により、周辺地域と有機的に連携した広域的な「生活圏」を形成する。	暮らしやすい地方都市の形成には、地方活力の向上が不可欠であり、そのためには、生活圏域の形成にとどまらず、地方都市間及び大都市との交流・連携の強化が重要	和歌山県	3145
5	3	3	無秩序な拡散型から歩いて暮らせる集約型の都市構造へ	無秩序な拡散型からコンパクトな歩いて暮らせる集約型の都市構造へ	抽象的な表現に変更した。	三重県	3146
5	3	3	…土地利用規制誘導の見直し等により……	…制度の活用による土地利用規制誘導により……	現行の容積率をフルに使い切っているわけではないため。	兵庫県	3147
4	4	2	…大阪湾を回復し、自然と…	…大阪湾や淀川、琵琶湖等を回復し、自然と…	事業範囲としての追加	整備局	3148
5	4	3	保全再生	保全・再生	語句の分割	岡山県	3149
5	4	4	持続可能な農山漁村地域の社会基盤の整備を図り、	「社会基盤の整備」を「社会資本の整備」に修文されたい。	社会基盤の語は、定義が不明であり、語の統一のため。	整備局	3150

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5	4	4	水源涵養機能や国土保全機能を維持、地域の伝統文化芸能の継承などの面から、特色ある地域資源を核とした上で、持続可能な農山漁村地域の社会基盤の整備を図り、地域の活性化を推進する人材の育成、新たな地域協働の形成、二地域居住等や都市と農村の共生・交流を促進するなどにより、集落機能の活性化を図る。	水源涵養機能や国土保全機能を維持、地域の伝統文化芸能の継承などの面から、特色ある地域資源を核とした上で、持続可能な農山漁村地域の社会基盤の整備を図り、地域の活性化を推進する人材の育成、新たな地域協働の形成、二地域居住等や都市と農村の共生・ 交流 対流 を促進するなどにより、集落機能の活性化を図る。	「都市と農山漁村の共生・対流」は用語として確立されており、都市と農山漁村の共生・対流とはグリーン・ツーリズムのほか農山漁村における定住・半定住等も含む広い概念である。都市と農山漁村の共生・対流を推進するため、副大臣会議に関係副大臣で構成されるプロジェクトチームが設置され、都市と農山漁村を双方向で行き交う新たなライフスタイルの実現を目指すこととされている。 農業振興地域における農地の利用については厳格化の方向にあり、宅地提供等他目的に利用することを推進する	農政局	3151
5	4	4	水源涵養機能や国土保全機能の維持、地域の伝統文化芸能の継承などの面から、特色ある地域資源を核とした上で、持続可能な農山漁村地域の社会基盤の整備を図り、地域の活性化を推進する人材の育成、新たな地域協働の形成、二地域居住等や都市と農村の共生・交流を促進するなどにより、集落機能の活性化を図る。	水源涵養機能や国土保全機能の維持、地域の伝統文化芸能の継承などの面から、特色ある地域資源を核とした上で、持続可能な農山漁村地域の社会基盤の整備を図り、地域の活性化を推進する人材の育成、新たな地域協働の形成、二地域居住等や都市と農村の共生・交流を促進するなどにより、集落機能の 維持 ・活性化を図る。	内容の追加	鳥取県	3152
5	4	5	「安全・安心」や「環境配慮」に関して意識の高い国内消費者のみならず、アジア市場等をターゲットとした高品質で付加価値の高い農産品の高品質を保証する関西共通の認証制度の創設により一大ブランドを確立するとともに、安定した生産量を確保するための体制を整備し、確固とした流通経路を開拓する。	「安全・安心」や「環境配慮」に関して意識の高い国内消費者のみならず、アジア市場等をターゲットとした高品質で付加価値の高い農産品の 安定した生産を確保するための体制整備と確固とした流通経路を開拓し国内における一大ブランド圏域づくりを行う高品質を保証する関西共通の認証制度の創設により一大ブランドを確立するとともに、安定した生産量を確保するための体制を整備し、確固とした流通経路を開拓する。	「関西ブランドとは、関西圏に存在する様々なブランドの集合体としてとらえるものではないか(「ブランド・ジャパン」のようなもの)。認証まで行くと関西圏ではあまりにも広すぎ価値が薄れてしまう。	農政局	3153
5	4	6	食料自給率の向上とその拡大を目指す	食料自給率の向上を目指す。	「その拡大」が何を指すかわかりにくい	滋賀県	3154

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5	4	6	世界の食糧需給が中長期的に逼迫する中で、地域に数多くある伝統食・郷土食文化や都市と農村の距離が大変近い地域である特性を活かしながら、地産地消の取組を推進することによって食料自給率の向上とその拡大を目指す。	世界の食糧需給が中長期的に逼迫する中で、 米を中心とした日本型食生活を進めるとともに 、地域に数多くある伝統食・郷土食文化や都市と農村の距離が大変近い地域である特性を活かしながら、地産地消の取組を推進することによって食料自給率の向上とその拡大を目指す。	自給率向上のためには、国内で自給可能な米の消費拡大が必須であるが、そのためには戦後食生活が多様化し、輸入に頼る畜産物や油脂類等からのカロリー摂取が増加した消費者サイドの意識改革を行う取り組みが重要であることを明記する必要があるため。	兵庫県	3155
5	4	7	鳥獣被害の深刻化・広域化に対応し、科学的で計画的な野生動物の保護管理を進め農林業、生活環境への被害低減を図る。	鳥獣被害の深刻化・広域化に対応し、科学的で計画的な野生動物の保護管理を進めるとともに 農林水産業や、 生活環境への被害 防止低減 を図る。	「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措に関する法律」の書きぶりにあわせた。 また、鳥獣被害は水産業にも及んでいる。(例:内水面漁業におけるカワウの被害)	農政局	3156
5	5	1	各地域の地域資源を活用した新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援し、地域産業発展の核となる新事業を創出する。	各地域の「強み」である産地の技術、農林水産品、観光資源等の地域資源を活用して新商品・新サービスの開発・市場化に取り組む中小企業等を総合的に支援し、地域産業発展の核となる新事業を創出する。	文言の修正	近畿経済産業局	3157
5	5	2	食に関する産業であるなど農林水産業、商業、工業が連携し、新商品開発、販路拡大等について、人材、 や 知恵等などの経営資源を結集する「農商工連携」の取組を推進する。	地域経済活性化のため、地域の基幹産業である農林漁業と商業・工業等の産業間での連携(農商工連携)強化し、相乗効果を発揮していくこととなるよう、中小企業者と農林漁業者が共同で行う新たな商品やサービスの開発等を支援し、中小企業者の経営の向上及び農林漁業経営の改善を図る取組を推進する。	文言の修正	近畿経済産業局	3158
5	5	2	食に関する産業である農林水産業、商業、工業が連携し、新商品開発、販路拡大等について、人材、知恵等の経営資源を結集する「農商工連携」の取組を推進する。	食に関する産業である 農林水産業、商業・ や 工業等が連携し、新商品開発、販路拡大等について、 技術・知識、ノウハウ 人材、 知恵 等の経営資源を 有効に活用結集 する「農商工連携」の取組を推進する。	農商工連携促進法の基本方針の書きぶりにあわせた。	農政局	3159

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5	5	3	企業立地を呼び込む広域的な連携基盤への投資、歴史・文化等を活かしたまちづくり等など地域の戦略的な取組への支援を行う。	企業立地を呼び込む高速交通ネットワーク等広域的な連携基盤への投資、歴史・文化等を活かしたまちづくり等など地域の戦略的な取組への支援を行う。	企業誘致を呼び込む重要な基盤整備の一つとして、物流コストを低減し競争力の強化に資する高速交通ネットワークの整備を例示。	和歌山県	3160
5	5	4	夜景	景観	「海、山、温泉」との並列を考慮し、一般的な表現に	和歌山県	3161
5	5	4	都市と自然の近接性を活かし、海、山、温泉、夜景等の資源を活用するとともに、地域としての個性・魅力を磨くことにより観光振興につなげる。	都市と農山漁村自然の近接性を活かし、海、山、温泉、夜景等の資源を活用するとともに、地域としての個性・魅力を磨くことにより観光振興につなげる。	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	3162
5	6	1	地域産業の再生や通勤圏内での雇用機会の創出を図るほか、広域救急医療体制の整備をはじめとする地域医療の確保、学校等教育環境の確保、ブロードバンド環境整備等による地域情報化の推進、日常生活に必要不可欠な道路整備、公共交通等生活交通の確保を進めることにより、生活者の暮らしの基盤を確保する。	地域産業の再生や通勤圏内での雇用機会の創出を図るほか、広域救急医療体制の整備をはじめとする地域医療の確保、学校等教育環境の確保、 携帯電話不感地区解消 、ブロードバンド環境整備等による地域情報化の推進、日常生活に必要不可欠な道路整備、公共交通等生活交通の確保を進めることにより、生活者の暮らしの基盤を確保する。	内容の追加	鳥取県	3163
5	6	2	都市と自然の魅力が同時に享受できる関西の魅力を生かし、二地域居住、グリーン・ツーリズム等の過疎地域と都市との交流を通じて自立的な地域社会を構築する。	都市と農山漁村自然の魅力が同時に享受できる関西の魅力を生かし、二地域居住、グリーン・ツーリズム等の過疎地域と都市との交流を通じて自立的な地域社会を構築する。	「都市」の対義語は「農山漁村」である。	農政局	3164
5	6	2	都市と自然の魅力が同時に享受できる関西の魅力を生かし、二地域居住、グリーン・ツーリズム等の過疎地域と都市との交流を通じて自立的な地域社会を構築する。	都市と自然の魅力が同時に享受できる関西の魅力を生かし、二地域居住、グリーン・ツーリズム等の過疎地域と都市との交流を通じて自立的 で 持続可能な地域社会を構築する。	内容の追加	鳥取県	3165

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5	6	3	地域コミュニティ機能の再生を図るため、複数集落単位の協力体制の構築等、地域が自らの力で集落機能の再生を図るとともに、NPO、企業等官民の多様な主体が連携した「新たな公」による地域づくりが図りやすい仕組みづくりを行う。	地域コミュニティ機能の再生を図るため、複数集落単位の協力体制の構築等、地域が自らの力で集落機能の維持・再生を図るとともに、NPO、企業等官民の多様な主体が連携した「新たな公」による地域づくりが図りやすい仕組みづくりを行う。	内容の追加	鳥取県	3166
5	6	3, 4	③地域コミュニティ機能の再生を図るため、複数集落単位の協力体制の構築等、地域が自らの力で集落機能の再生を図るとともに、NPO、企業等官民の多様な主体が連携した「新たな公」による地域づくりが図りやすい仕組みづくりを行う。 ④各地の地域コミュニティ再生に取り組む団体・個人が互いに交流をもてるネットワークを整備することで、都市の側から地域に入り込みやすい環境をつくる。	下線部修正・追加 地域コミュニティ機能の再生を図るため、複数集落単位の協力体制の構築や、NPO、企業等官民の多様な主体が連携した「新たな公」の創生及び活動を支援するとともに、再生に取り組む団体・個人が互いに交流を持てるネットワークを構築することで、都市の側から地域に入り込みやすい環境をつくる。	○過疎問題懇談会の集落提言(H20.4)において、「集落の住民が集落の問題を自らの課題としてとらえ、市町村がこれに十分な目配りをした上で施策を実施していくことが重要」とされており、自らの力で再生をするまでは“言い過ぎ”の感がある。 ○“仕組みづくり”とは何か分かりにくい。“「新たな公」の創生や活動を支援する”とする。また、③と④は集落対策ということで関連しているので、合体させる。これにより、①は「生活基盤整備」、②は「都市との交流」、③は「集落対策」ということでまとめることができる。	奈良県	3167
6	1	1	規制緩和等も含めて「新たな公」によるサービス提供の仕組みづくり	-	内容が不明	和歌山県	3168
6	3	1	地域を挙げて少子化対策に取り組むため、交通利便性の高い中心市街地や交通結節点において商店街の空き店舗、や余裕施設等を活用して保育施設機能を整備するとともに、団塊世代等により保育の担い手を確保する。	地域を挙げて少子化対策に取り組むため、交通利便性の高い中心市街地や交通結節点において商店街の空き店舗等を活用して保育施設を整備する。	団塊世代の活用については認知していない。	近畿経済産業局	3169
6	3	2	自主防犯・防災活動と一体として行う	自主防犯・防災活動を一体として行う	文法上の修正	和歌山県	3170

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
6	3	4	安全な道路交通環境実現のために、交通安全施設整備、通学路の歩道整備、踏切除却対策等の交通安全対策の推進、橋梁等の道路ストックの老朽化が進む中で、安全・安心な道路交通を確保するため、定期的な点検により損傷が軽微な段階で補修を行う等の計画的な道路管理を実施する。	次のように修文されたい。 「安全・安心な道路交通環境のために、交通安全施設整備、通学路の歩道整備、踏切除却対策等の交通安全対策を推進すると共に、橋梁等の道路ストックの老朽化が進む中で、定期的な点検により損傷が軽微な段階で補修を行う等の計画的な道路管理を実施する。」	計画的な道路管理は、安全・安心な道路交通環境を直接的に確保するが、道路交通の安全・安心はもっぱらドライバー又は道路幾何構造等により確保されるため。また、「安全な道路交通環境実現」と「安全・安心な道路交通(環境)を確保する」は、同等の意味と解されるため。	整備局	3171
6	3	4	「安全な道路交通環境実現のために、交通安全施設整備、通学路の歩道整備、踏切除却対策等の交通安全対策の推進、」橋梁等の道路ストックの老朽化が進む中で、安全・安心な道路交通を確保するため、定期的な点検により損傷が軽微な段階で補修を行う等の計画的な道路管理を実施する。		原案の「 」部分で各施策を句点で振り分けており、その後半で「橋梁等の道路ストックの老朽化が進む中で、」と説明文を句点でつなげているので少しおかしく見えるため。	整備局	3172
6	3	4	安全な道路交通環境実現のために、・・・交通安全対策の推進、橋梁等の道路ストックの老朽化が進む中で・・・	安全な道路交通環境実現のために、・・・交通安全対策を推進するとともに、橋梁等の道路ストックの老朽化が進む中で・・・	表現の適正化。 ■ 目的は2つ ・安全な道路交通環境実現のため ・安全・安心な道路交通を確保するため	兵庫県	3173
7	1	1	近い将来発生が危惧される東南海・南海地震等からの災害リスクを低減させるため、都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化、密集市街地の解消、大阪湾ゼロメートル地帯、水害多発地帯等を防護するための河川管理施設、砂防、海岸保全施設の維持・強化を図る。	近い将来発生が危惧される東南海・南海地震等からの災害リスクを低減させるため、都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化、 <u>更に、密集市街地においては、老朽住宅の建替え促進や、避難・延焼防止に有効な道路等の整備の促進</u> 、大阪湾ゼロメートル地帯、水害多発地帯等を防護するための河川管理施設、砂防、海岸保全施設の維持・強化を図る。	より具体的な表現に修正	大阪市	3174

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
7	1	1	近い将来発生が危惧される東南海・南海地震等からの災害リスクを低減させるため、都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化、密集市街地の解消、大阪湾ゼロメートル地帯、や水害多発地帯等を防護するための河川管理施設、・砂防、・海岸保全施設の維持・強化を図る。	近い将来発生が危惧される東南海・南海地震等や、 近年発生する集中豪雨等によるからの 災害リスクを低減させるため、都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化、密集市街地の解消や、大阪湾ゼロメートル地帯、や 多発する水害多発地帯等から を防護するための河川管理施設、・砂防、・海岸保全施設 等の整備維持 ・強化を図る。		整備局	3175
7	1	1	水害多発地帯等を防護するための河川管理施設、砂防、海岸保全施設の維持・強化を図る。	洪水氾濫区域等を防護するための河川管理施設、砂防施設、海岸保全施設の維持・強化を図る。	洪水氾濫区域が一般的な表現である。	整備局	3176
7	1	1	・・・都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化、密集市街地の解消・・・	・・・都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化、 老朽化した橋梁・道路の更新・整備 、密集市街地の解消・・・ または⑧・・・社会資本ストック・・・を具体的に記載し、①と合わせる。	建物だけでなく老朽化した橋梁・道路の整備も災害対策として不可欠ではないか。(社会資本の維持更新は住民の安全とともに経済活動の維持のためにも必要)	関経連	3177
7	1	1	都市基盤施設や住宅をはじめとする建築物及び宅地の耐震化・不燃化・密集市街地の解消、	「都市基盤施設」を、「社会資本」又は「都市施設」又は「公共施設」等の語に修文されたい。	都市基盤施設の語は、定義が不明であり、語の統一のため。	整備局	3178
7	1	2	道路をはじめとした都市基盤施設の防災・防雪対策の推進	「都市基盤施設」を、「社会資本」又は「都市施設」又は「公共施設」等の語に修文されたい。	都市基盤施設の語は、定義が不明であり、語の統一のため。	整備局	3179
7	1	2	豪雨、豪雪や津波・高潮等の自然災害に対し、道路をはじめとした都市基盤施設の防災・防雪対策の推進、ため池の安全確保、雨水の流出しにくいまちづくり等を図るとともに、ハザードマップ等による災害危険箇所の明示、土地利用の規制等により住居等の移転を誘導・促進するとともに、新規住宅の立地抑制を図る。	豪雨、豪雪や津波・高潮等の自然災害に対し、道路をはじめとした都市基盤施設の防災・防雪対策の推進、 <u>海岸保全施設の維持・強化</u> 、ため池の安全確保、雨水の流出しにくいまちづくり等を図る。また、ハザードマップ等による災害危険箇所の明示、土地利用の規制等により住居等の移転を誘導・促進するとともに、新規住宅の立地抑制を図る。	「や津波・高潮等」を追加するのであれば、文章全体を見直すべき	神戸市	3180

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
7	1	2	豪雨・豪雪や津波・高潮等のなど自然災害に対し、	風水害、土砂災害、地震災害等の自然災害に対し、	自然災害とは気象災害、地震災害、火山災害等のことをさすのではないでしょ	整備局	3181
7	1	2	道路をはじめとした都市基盤施設の防災・防雪対策の推進	河川、道路をはじめとした都市基盤施設の防災・防雪対策の推進	都市基盤施設には河川も主なものとして含まれているため。	整備局	3182
7	1	3	基幹的広域防災拠点や災害時にも機能する道路、 ・港湾 、 ・空港 等の整備・保全を推進する。	基幹的広域防災拠点や災害時にも機能する河川・道路、 ・港湾 、 ・空港 等の整備・保全を推進する。	河川にも災害時の代替え輸送手段としての整備行っている。	整備局	3183
7	1	3	災害時の円滑な救援、救助、復興が可能な体制を構築するため、代替可能な複数の輸送・移動経路の確保に配慮しつつ、基幹的広域防災拠点や災害時にも機能する道路、港湾、空港等の整備・保全を推進する。・・・	災害時の円滑な救援、救助、復興が可能な体制を構築するため、代替可能な複数の輸送・移動経路の確保に配慮しつつ、基幹的広域防災拠点や災害時にも機能する道路、港湾、空港、 <u>新幹線</u> 等の整備・保全を推進する。・・・	災害時、東海道新幹線の代替補完機能を有する北陸新幹線等の整備促進も必要	福井県	3184
7	1	3	代替可能な複数の輸送・移動経路の確保に配慮しつつ、基幹的広域防災拠点や災害時にも機能する道路、 ・港湾 、 ・空港 等の整備・保全を推進する。	代替可能な複数の輸送・移動経路の確保に配慮しつつ、基幹的広域防災拠点や災害時にも機能する道路、 ・航路 ・港湾、 ・空港 等の整備・保全を推進する。	舟運(淀川、琵琶湖再生の舟運を記載)	整備局	3185
7	1	4	関係機関が連携して……、公的機関、民間事業者等がそれぞれに策定するBCP(業務継続計画)間の連携強化を図る。	関係機関が連携して……、公的機関、民間事業者等の <u>それぞれのBCM(業務継続マネジメント)間の連携を強化する。</u>	用語として「BCP」よりも「BCM」の方が適切	兵庫県	3186
7	1	7	災害に強くしなやかなまちづくりを進めていくため、各種のハザード情報を土地利用計画やまちづくり計画に反映させていく。	災害に強いまちづくりを進めていくため、各種のハザード情報を土地利用計画やまちづくり計画に反映させていく。	削除箇所「しなやか」がどのようなことを予定していることがわからないため	神戸市	3187
7	1	7	……ため、各種のハザード情報を土地利用計画やまちづくり計画に反映させていく。	……ため、各種のハザード情報を <u>土地利用計画</u> やまちづくり計画に反映させていく。	各種のハザード情報は、災害発生の可能性とその大小を一定の条件を与えて算定したものであり、それを絶対視して土地利用計画に反映することは事実上困難なため	兵庫県	3188
7	1	8	気候変動	気候	気候変動の場合、地球温暖化、砂漠化といった変動を連想させるため、より適切な表現を使用。	大阪府	3189

第3部 目指す姿を実現するための戦略について

節 NO	()NO	○NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
7	1	8	雨水の各戸貯留	雨水の貯留浸透	水循環系の再生には、各戸貯留の他にも、幅広く貯留管や雨水浸透施設の取り組みがあるため。	兵庫県	3190
7	1	8	豪雨・高潮、渇水等の など 気候変動の影響を極力緩和していくため、雨水の各戸貯留、 や 森林、農地の保全 等 など により、健全な水循環系の再生に努めるとともに、海岸保全施設の整備を推進する ていく 。	集中豪雨、渇水、高潮等の気候変動の影響を極力緩和していくため、河川管理施設の整備や森林、農地の保全等により、健全な水循環系の再生に努める。		整備局	3191

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
全体			主要プロジェクトについては、ローカルな事業を記述するのではなく、関西全体で取り組むことができるプロジェクトを主に記述するべきではないかと考える。したがって、当該プロジェクトについて、事業実施主体だけでなく、関西の各機関の役割や具体的にどのような取組みを行うのかといったことも含めて記載すべきである。	大阪市	4001
全体			「主要プロジェクト」となっているが、プロジェクトの具体的内容が記載されておらず、これでは意見の出しようがない。具体的な内容を示していただきたい。	京都府	4002
全文			プロジェクトの形式にまとまっていないためコメントがつけられない	大阪府	4003
1	日本の中心核となることを目指す。	日本のもう一つの中心核となることを目指す。	前出の表現にあわせた。	三重県	4004
1	関西の使命として新たなまちづくり、ものづくり、ひとづくりにおいても本物を目指す。	関西の使命として新たな本物のまちづくり、ものづくり、ひとづくりを進めるにおいても本物を目指す。	「本物を目指す」では「本物になりきれしていない」ニュアンスになると思われる	兵庫県	4005
1	世界遺産、国宝等の歴史・文化資産のみならず伝統技術、景観・自然、食等の高品質・高品位の本物を保全・継承するとともに、関西の使命として新たなまちづくり、ものづくり、ひとづくりにおいても本物を目指す。さらに、関西から日本を代表する本物を発信し、日本の中心核となることを目指す。	世界遺産、国宝等の歴史・文化資産はもとより、伝統技術、景観・自然、食等の高品質・高品位の本物を保全・継承するとともに、 関西の使命として歴史的施設 の復原(復元)などを活用した新たなまちづくりや、ものづくり、ひとづくりにおいても本物を目指す。さらに、関西から日本を代表する本物を発信し、日本の中心核となることを目指す。	・主要プロジェクトの記述内容が、「第2部関西の目指す姿」をまとめて記述しているだけであり、抽象的すぎてわかりにくいのではないかと。 ・第3部の戦略の内容を踏まえた例示を加えればどうか。(修正案は参考。ものづくり、ひとづくりについても例示が必要。)	奈良県	4006

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
2	関西各地に魅力的な観光資源の創出を図るとともに、観光資源を適切に組み合わせた広域観光ルートを開発する。また、旅行者の利便性を圏域全体で高めるとともに、観光プロモーションを関西共同で展開し、長期滞在型観光にも対応した広域観光圏を形成する。	関西各地に魅力的な観光資源の創出を図るとともに、 圏域内外 の観光資源を適切に組み合わせた広域観光ルートを開発する。また、旅行者の利便性を圏域全体で高めるとともに、観光プロモーションを関西共同で展開し、長期滞在型観光にも対応した広域観光圏を形成する。	関西広域・国際観光圏を形成するためには、圏域内外の観光資源を組み合わせた広域観光ルート開発等、広域的な観光戦略を立てることが必要	福井県	4007
2	関西各地に魅力的な観光資源の創出を図るとともに、観光資源を適切に組み合わせた広域観光ルートを開発する。	関西各地での魅力的な観光資源の創出・適切な組み合わせを図るとともに、他の広域ブロックとの連携を視野に入れた広域観光ルートを開発する。	外国人は、関西にとどまらず日本全体で観光ルートを考えるのではないかな。また、全国計画では他の広域ブロックとの連携の必要性が示されている。他ブロックとの連携で相乗効果が期待できるのではないかな。	関経連	4008
2	●旅行者の利便性を圏域全体●● ●観光プロモーションを関西共同で●●	●旅行者の利便性を瀬戸内海を始めとする他圏域との連携を含めた交流圏全体●● ●観光プロモーションを交流圏共同で●●	瀬戸内海を始めとする隣接地域は、自然や観光資源の宝庫であり、連携・交流により、関西圏の魅力がより一層高まり、インバウンド観光の環境が整うなど、交流人口の活発化につながるため	整備局	4009
3	次世代産業を創造する「知の拠点」形成プロジェクト	次世代産業創造・育成プロジェクト	「知の拠点」をつくるだけでなく、むしろ「産業化」「工業化」を図りビジネスにしていけることが重要なのではないかな。「知の拠点」で終わらず、「新産業として成り立たせること」が目標ではないかな。	関経連	4010
4	【下二行】 関西の経済を牽引する●●●●	関西だけでなく隣接圏域をも牽引する●●●●	第3部第2節(4)で隣接圏と一体となった大経済圏を形成するといった表現があるため、「隣接圏域も牽引する」という表現が良いのでは。	徳島県	4011

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	中間整理素案には記述はないが、計画原案の策定に向けて具体的な記述を行う際、夢洲に関する記述については、前回の検討会議に資料に記載されている以下の表現を改めていただきたい。 ・夢洲に…世界最大級の物流拠点を整備 ・夢洲に世界最大級のロジスティクスセンターを整備	・夢洲に… <u>ターミナルと一体的に機能する物流拠点等</u> を整備 ・夢洲に <u>ターミナルと一体的に機能する物流拠点等</u> を整備	用語による誤解を招かないため、国交省が策定する「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」(現在変更作業中)等において用いられる用語を使用すべきであるため。	大阪市	4012
4	中間整理素案には記述はないが、計画原案の策定に向けて具体的な記述を行う際、夢洲に関する記述については、前回の検討会議に資料に記載されている以下の表現を改めていただきたい。 ・大阪湾ポートオーソリティの設立	<u>広域的な港湾連携の体制強化</u>	用語による誤解を招かないため、国交省が策定する「港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針」(現在変更作業中)等において用いられる用語を使用すべきであるため。	大阪市	4013
4	大阪湾ベイエリアの再生と広域物流ネットワーク形成プロジェクト	大阪湾ベイエリアの活性化プロジェクト	現時点では唯一の関西らしい産業振興策であり、物流網の整備とは混同すべきでない(他圏域でも記載されている産学連携や次世代産業の育成だけでなく、国際競争力のある強い産業を集積する産業振興策として特出しすべきである)。	関経連	4014
4	大阪湾ベイエリアを、国際競争力のある成長産業が集積した製造・物流拠点として充実させるとともに、ウォーターフロントの特性を活かしたアメニティの高い環境を創出し、関西の経済を牽引する強くて美しいアジア・ゲートウェイエリアとする。	大阪湾ベイエリアを、国際競争力のある成長産業が集積した製造拠点及び関西国際空港や阪神港を中心とした陸海空の物流拠点として充実させるとともに、ウォーターフロントの特性を活かしたアメニティの高い環境を創出し、関西の経済を牽引する強くて美しいアジア・ゲートウェイエリアとする。	関空のことを明示すべき	和歌山県	4015
4	とする。	を目指す。	将来像として記載しているため	近畿経済産業局	4016

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
4	大阪湾バイエリアを、国際競争力のある成長産業が集積した製造・物流拠点として充実させるとともに、ウォーターフロントの特性を活かしたアメニティの高い環境を創出し、関西の経済を牽引する強くて美しいアジア・ゲートウェイエリアとする。	(左記原案に続けて追加記載を行う) また、東アジア交流圏の形成に向けた日本海側港湾の充実と関西の南北交通軸の強化を図る。	・ 大阪湾バイエリアに特化した表現となっており、本節に再編された広域物流ネットワーク形成プロジェクトの内容、特に、秋山会長の記者会見コメントにもあった「日本海側をどうしていくか」が全く反映されていない。	京都府	4017
4	第4節 大阪湾バイエリアの再生と広域物流ネットワーク形成プロジェクト 大阪湾バイエリアを、国際競争力のある成長産業が集積した製造・物流拠点として充実させるとともに、ウォーターフロントの特性を活かしたアメニティの高い環境を創出し、関西の経済を牽引する強くて美しいアジア・ゲートウェイエリアとする。	第4節 大阪湾バイエリアの再生と広域物流ネットワーク形成プロジェクト 大阪湾バイエリアを、 地域性を活かした圏域内の物流拠点とネットワーク化することにより 、国際競争力のある成長産業が集積した製造・物流拠点として充実させるとともに、ウォーターフロントの特性を活かしたアメニティの高い環境を創出し、関西の経済を牽引する強くて美しいアジア・ゲートウェイエリアとする。	急速な経済成長が著しい東アジア・ロシア等との物流ネットワークの充実のためには、地理的な条件などから日本海沿岸などの社会基盤整備が効果的であるため。	鳥取県	4018
4	大阪湾バイエリアを、国際競争力のある成長産業が集積した製造・物流拠点として充実させるとともに、ウォーターフロントの特性を活かしたアメニティの高い環境を創出し、関西の経済を牽引する強くて美しいアジア・ゲートウェイエリアとする。	(左記原案に続けて追加記載を行う) また、東アジア交流圏の形成に向けた日本海側港湾の充実と関西の南北交通軸の強化を図る。	・ 大阪湾バイエリアに特化した表現となっており、本節に再編された広域物流ネットワーク形成プロジェクトの内容、特に、秋山会長の記者会見コメントにもあった「日本海側をどうしていくか」が全く反映されていない。	京都府	4019
4	…アジア・ゲートウェイエリアとする。	…アジア・ゲートウェイエリアとする。 また、 アジアに近接する日本海側港湾との適切な機能分担・連携により、関西全体の効率的な物流ネットワークを構築する。	原案では、日本海側港湾の施策が読めないため追記。	整備局	4020

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
追加項目		陸・海・空の広域ネットワーク形成プロジェクト	ベイエリアの活用と物流網の整備は混同すべきでない。また、物流網の整備は関西経済の活性化の最重要課題であり、単独のプロジェクトとして記載すべきである(活性化の”手段”であるが、効力の大きな手段は敢えて特出ししてもいいのではないか)。	関経連	4021
追加項目	記載なし	(4節と5節の間に追加) 陸・海・空の広域ネットワーク形成プロジェクト 圏域の内外を結ぶ陸・海・空の広域的ネットワークの構築を図り、関西の持つ高度かつ多様な集積をつなぐことにより、関西の持つ総合的なポテンシャルを一層高める。	5月13日の第4回検討会議においても、ミッシングリンクの解消、日本海側と太平洋側のネットワーク強化等が課題として盛んに議論されており、単独のプロジェクトとして記載すべきである。	兵庫県	4022
4	上記の対応が難しければ、以下の修正をすべきである。			兵庫県	4023
4	【タイトル】大阪湾ベイエリアの再生と広域物流ネットワーク形成プロジェクト	広域物流ネットワーク形成と大阪湾ベイエリアの再生プロジェクト	広域物流ネットワークは、圏域内外の物流拠点、製造拠点との連携強化を図るものであり、「大阪湾ベイエリアの再生」を文頭に記述すると、大阪湾ベイエリアに特化したように読めるため。	兵庫県	4024
4	記載なし	(文頭に追加) 圏域の内外を結ぶ陸・海・空の広域的ネットワークの構築を図り、関西の持つ高度かつ多様な集積をつなぐことにより、関西の持つ総合的なポテンシャルを一層高める。また、大阪湾・・・	広域物流ネットワーク形成に関する記述が抜けている。5月13日「第4回近畿圏広域計画検討会議」の資料1.p.6【プロジェクトの概要】の記載内容を追加。	兵庫県	4025

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
5			<質問> ”主要プロジェクトの構成の見直し(案)”の別紙2を見る限りは、”府県の区域を越えた広域連携による廃棄物処理等の適正な資源循環を推進する。”の具体的に指している主な内容はフェニックス計画のことと読み取れるが、一般的には最終処分は資源の循環の輪の外と捉えられ、内容と看板に齟齬が生じていると受け取られる恐れがある。 ”府県の区域を越えた広域連携による廃棄物処理等の適正な資源循環を推進する。”とは具体的には何を指しているのか？	近畿地方環境事務所	4026
5	COP3を開催した圏域として、CO2の排出削減に圏域を挙げて取り組み、排出削減に向けた広域的な取組を推進する。また、府県の区域を越えた広域連携による廃棄物処理等の適正な資源循環を推進する。	COP3を開催した圏域として、 <u>低炭素型産業構造への転換、低炭素型都市構造への変革、低炭素型ライフスタイルへの転換などに圏域をあげて広域的に取り組む、低炭素化社会の実現を目指す。</u> また、府県の区域を越えた広域連携による廃棄物処理等の適正な資源循環を推進する。	堺市は、本年7月に環境モデル都市候補市に選出され、今後、低炭素型社会の実現へ向け、近畿圏のみならず全国・世界のまちづくりをリードするべく、取組を進めていくため。	堺市	4027
5	CO2の排出削減に圏域を挙げて取り組み、排出削減に向けた広域的な取組を推進する。	CO2の排出削減に向けた広域的な取組を推進する。	簡潔に	和歌山県	4028
5	COP3を開催した圏域として、	COP3を開催し、 <u>G8環境大臣会合でクールアース推進構想が打ち出された</u> 圏域として、	会合の規模や重要性から見て、関西における環境面での先進的な取組の例として掲載することが適切だと思われるた	兵庫県	4029

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
6	生物の移動経路の連続性等が確保された水と緑のネットワークづくりを圏域全体で進める。また、これらを効果的に進めるため、人と自然のふれあいの確立を図る。	生物の移動経路の連続性等が確保された水と緑のネットワークづくりを圏域全体で進める。また、これらを効果的に進めるため、 <u>既存緑地の保全や公園・緑地の整備等</u> 、人と自然のふれあいの確立を図る。	都市において公園・緑地は、人と自然のふれあいの確立を図るうえで、重要な役割を果たすため、保全や整備の促進が必要。	大阪市	4030
6	全体の目標設定と明確な役割分担の下に対策を進めるとともに、生物の移動経路の連続性等が確保された水と緑のネットワークづくりを圏域全体で進める。	全体の目標設定と明確な役割分担の下に対策を進めるとともに、生物の移動経路の連続性等が確保された水と緑のネットワーク、 <u>みずべプロムナードネットワークのづくり</u> を圏域全体で進める。	水緑だけでなく、移動の視点も入れたネットワークづくりを記載	整備局	4031
6	大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生を図るため、…	大阪湾・琵琶湖等の水環境や過去に損なわれた生態系の再生、ネットワーク構築のコアとなる自然環境の保全等、…	水と緑のネットワークの構築は水環境の保全だけではなく、圏域全体にわたるものであるため。	近畿地方環境事務所	4032
6	大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生を図るため、全体の目標設定と明確な役割分担の下に対策を進めるとともに、生物の移動経路の連続性等が確保された水と緑のネットワークづくりを圏域全体で進める。また、これらを効果的に進めるため、人と自然のふれあいの確保を図る。	大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生を図るため、全体の目標設定と明確な役割分担の下に対策を進めるとともに、生物の移動経路の連続性等が確保された水と緑のネットワークづくりを圏域全体で進める。また、京阪神大都市圏の背後にある紀伊半島や北近畿の森を関西全体で享受するためのネットワークやインフラを整備し、「緑のヒンターランド」を実現する。さらに、これらを効果的に進めるため、人と自然のふれあいの確保を図る。	森林環境の活用・享受について「緑のヒンターランド」を追加	和歌山県	4033

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
6	大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生を図るため、全体の目標設定と明確な役割分担の下に対策を進めるとともに、生物の移動経路の連続性等が確保された	瀬戸内海・大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生を図るため、全体の目標設定と明確な役割分担の下に対策を進めるとともに、豊かな森づくりや生物の移動経路の連続性等が確保された	瀬戸内再生の取組や森林整備についても明記すべき	兵庫県	4034
6	大阪湾・琵琶湖等の水環境の再生・・	琵琶湖から大阪湾及び瀬戸内海に至る水環境の再生・・	琵琶湖から大阪湾・瀬戸内海に至る水域は閉鎖性水域であり、関係する圏域が一体となり、生態系・水循環の保全・再生に取り組む必要があるため	整備局	4035
6	広域的な水と緑のネットワークづくりプロジェクト	広域的な森・川・海のネットワークづくりプロジェクト	語句の統一及び「水と緑のネットワーク」はかわまちづくり事業の1つとしてあり、混合を避けるため。	整備局	4036
6	・・・確保された水と緑のネットワークづくりを・・・	・・・確保された森・川・海のネットワークづくりを・・・	語句の統一及び「水と緑のネットワーク」はかわまちづくり事業の1つとしてあり、混合を避けるため。	整備局	4037

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
8	第8節 都市との交流による農山漁村活性化プロジェクト	第8節 都市と農山漁村の共生・対流 交流による農山漁村活性化プロジェクト	「都市と農山漁村の共生・対流」は用語として確立されており、都市と農山漁村の共生・対流とはグリーン・ツーリズムのほか農山漁村における定住・半定住等も含む広い概念である。都市と農山漁村の共生・対流を推進するため、副大臣会議に関係副大臣で構成されるプロジェクトチームが設置され、都市と農山漁村を双方向で行き交う新たなライフスタイルの実現を目指すこととされている。 救急医療体制については、農山漁村活性化の概念に含まれているというより、活性化を進めるための必要な居住条件整備の一つであると考えられるため、改行した。 また、第3部の表現との整合を図るため、「職業提供・所得保障・・・」の文言を追加した。	農政局	4038

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
8	大都市と自然との近接性を活かし、二地域居住や一つの地域に住んでいても両方の魅力が味わえる住まい方等、多様なライフスタイルが選択できる圏域を形成する。こうした都市との交流促進を農山漁村の活性化につなげていく。地方部における生活では、救急医療に対する不安を解消し、関西のどこにおいても安心して暮らせる圏域の実現を目指す。	大都市と農山漁村自然との近接性を活かし、二地域居住や一つの地域に住んでいても両方の魅力が味わえる住まい方等、多様なライフスタイルが選択できる圏域を形成する。こうした都市との共生・対流の交流促進を農山漁村の活性化につなげていく。地方部における生活では、救急医療に対する不安を解消し、関西のどこにおいても安心して暮らせるとともに、職業提供・所得保障等、二地域居住等が可能となる圏域の実現を目指す。	「都市と農山漁村の共生・対流」は用語として確立されており、都市と農山漁村の共生・対流とはグリーン・ツーリズムのほか農山漁村における定住・半定住等も含む広い概念である。都市と農山漁村の共生・対流を推進するため、副大臣会議に関係副大臣で構成されるプロジェクトチームが設置され、都市と農山漁村を双方向で行き交う新たなライフスタイルの実現を目指すこととされている。 救急医療体制については、農山漁村活性化の概念に含まれているというより、活性化を進めるための必要な居住条件整備の一つであると考えられるため、改行した。 また、第3部の表現との整合を図るため、「職業提供・所得保障・・・」の文言を追加した。	農政局	4039

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
8	大都市と自然との近接性を活かし、二地域居住や一つの地域に住んでいても両方の魅力が味わえる住まい方等、多様なライフスタイルが選択できる圏域を形成する。こうした都市との交流促進を農山漁村の活性化につなげていく。地方部における生活では、救急医療に対する不安を解消し、関西のどこにおいても安心して暮らせる圏域の実現を目指す。	大都市と自然との近接性を活かし、二地域居住や一つの地域に住んでいても両方の魅力が味わえる住まい方等、多様なライフスタイルが選択できる圏域を形成する。こうした都市との交流促進を農山漁村の活性化につなげていく。地方部における生活では、救急医療に対する不安を解消し、関西のどこにおいても安心して暮らせる圏域の実現を目指す。 関西のどこにおいても安全・安心な暮らしを確保するため、救急医療体制の充実を図る。	5月13日の検討会議後の『主要プロジェクト』発言整理表での修正経過を踏まえ、添付いただいている主要プロジェクトの構成案別紙2の表現に修正する。なお、『主要プロジェクト構成案』では、「近畿」という文言になっているが、「関西」に置き換えている。	京都府	4040

第4部 主要プロジェクトについて

節 NO	原案	修正案等	修正等の理由	機関名	番号
9	東南海・南海地震や都市部の直下型地震、風水害等、今後予想される様々な自然災害に対応し、暮らしや産業のリスクを軽減するとともに、防災に関するノウハウを活用した国際貢献を行う。さらに、首都圏被災時には首都機能のバックアップを担う圏域となる。	東南海・南海地震やそれに伴う津波、都市部の直下型地震、風水害、高潮等、今後予想される様々な自然災害に対応し、暮らしや産業のリスクを軽減するとともに、防災に関するノウハウを活用した国際貢献を行う。さらに、首都圏被災時には首都機能のバックアップを担う圏域となる。	●「津波」 津波は、地震に起因して発生するが、一度に発生する被害が大きい上に、災害としては別に分類されているため明示した。 ●水害や高潮災害 ・ゼロメートル地帯等では、水害のみではなく高潮による災害リスクも高く、また、水害と高潮災害は、全く別の災害であるため、追記した。 ・全国計画では、「(2)風水害・豪雪・高潮対策」(P91)で明瞭に節を分離して記述しているところ。 ・また、社会資本整備審議会河川分科会の「豪雨災害対策の推進について(提言)」、「気候変動に適応した治水対策のあり方について(諮問書)」、諮問文等の文書や国会答弁等では、「水害、土砂災害、高潮災害等」と並べて記述しているところ。	整備局	4041

その他 について

節NO.	()NO.	○NO	ご意見・ご提案	機関名	番号
			全体的に(特に2部)において、「周辺圏域」「隣接圏域」「隣接する圏域」「関西と周辺地域」「関西に隣接する地域」など、関西の周辺地域(圏域)について、いろいろな呼び方が用いられているが、理由があつてこういう使い分けをしているのか。	徳島県	5001
5の記述について			年の記述については、西暦と元号が混在しており、統一する必要がある。	大阪市	5002
部第1節について			投資の重点化・効率化に関する記述にあたっては、関西全体に便益が及ぶ事業(プロジェクト)の費用について、関西の各機関がその受益に応じて費用を分担できるような仕組みの構築を目指す旨記述してはどうか。	大阪市	5003
			「……圏域となる。」→「……圏域を目指す。」が一般的ではないのか？	整備局	5004
			「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」を受け、河川局として今後、本答申を踏まえた施策を推進させていことになっているため以下の内容を記載してください。	整備局	5005

その他 について

節NO.	()NO.	○NO	ご意見・ご提案	機関名	番号
			【考え方】 ① 国土形成計画(全国計画)第2部第5章2節(2)風水害・豪雪・高潮対策について十分考慮すること。 ② 「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について」(答申)について十分認識した内容とすること。(記述例を参考) 【記述例】 ① 気候変化の対策は適応策、緩和策のどちらか一方だけでは不十分で、両方が補完しあうことにより、リスクの大きな低減が可能。 ② 適応策、緩和策を適切に組み合わせて、持続可能な社会・経済活動や生活を行える「水災害適応型社会」を目指す。 ③ 適応策として、「犠牲者ゼロ」や「国家機能の麻痺を回避」など重点的な対応につとめ、被害の最小化を目標とする。 ④ 地球温暖化に伴う気候変化の予測には幅があるため、モニタリングを強化し今後の観測データや知見の蓄積、増大する外力に対する災害リスクを評価した上で、計画を修正していく順応的なアプローチが重要。 ⑤ 具体的な施策として、全ての基本となる施設による適応策、流域対策としての地域づくりと一体となった適応策、広域防災ネットワークなど危機管理対応を中心とした適応策、渇水リスクの回避に向けた適応策、河川環境の変化への適応策、気候変化による影響のモニタリング強化を計画的に実施する。	整備局	5006
主要プロジェクトの構成の見直し(案)の別紙2	ポスト・フェニックス		(原案)5. 圏域一体となったCO2排出削減と資源循環プロジェクト CO2の排出削減を広域連携により取組、またフェニックス計画の事業スキームを見直す(CO2排出量の削減分(エコポイント)で、廃棄物処理費用を支払えるなど) →(修正案)5. 圏域一体となったCO2排出削減と資源循環プロジェクト COP3を開催した圏域として、CO2の排出削減に圏域を挙げて取り組み、排出削減に向けた広域的な取組を推進する。また、圏域を挙げて3Rの徹底に取り組み、適正な資源循環を推進する。 (修正理由)本資料については、計画(素案)第4部と表現を一致させるべき。ポスト・フェニックスについては、関係者間における検討・調整も始まっていないと聞いている。まず3Rの徹底による最終処分量の低減に向けた取組が重要と考えており、このような段階で「フェニックス計画の事業スキームを見直す」というような結論が既に出ているようなような書きぶりは不適切。	近畿地方環境事務所	5007
			第4部と第5部は計画の要となる部分である。第4部の中身についてはたたき台が作成されており、少なくとも10月21日の第1回協議会では第4部の具体的な中身を記載した中間整理案を提示するべきである。第5部については議論はされていないが、検討項目のみだけでなく可能なかぎり中身が記載された状態で中間整理案が示されることが望ましい。	関経連	5008

その他 について

節NO.	()NO.	○NO	ご意見・ご提案	機関名	番号
			実効性のある計画にするため、第4部は時間軸を意識した記載にするべきである。短期、中期、長期といったスパンとメルクマークを可能な限り盛り込むべきである。また、計画の実施主体や推進体制についても明確に記載するべきである。 (または、第5部で時間軸について記述してはどうか)	関経連	5009
			産業振興策については、これから育成する産業だけでなく既に競争力のある産業を強化するという面も検討する必要がある。また、サービス産業の扱いについても関西としての位置づけを明確にしておく必要があるのではないか。 加えて、産業振興＝人材育成という視点だけでなく、世界市場をマーケットにするグローバル企業のニーズに応える拠点機能を強化する方策が必要ではないか(産業振興の記述が人材に偏っている印象があり、むしろ企業立地を促す税制・情報・物流・金融等の機能強化、利便性を図ることが重要ではないか)。	関経連	5010
3部5節	4	⑤	近畿のすべての府県で農産物認証制度が運営されていることから、さらに新たな広域の認証制度を創設すれば大きな混乱が生じることが懸念される。このため、府県の認証制度と十分調整を図りつつ、検討を進める必要がある。	滋賀県	5011
			第2部の構成に併せて、第1部の並び等を考慮すべき。	近畿経済産業局	5012
			近年、自然災害の激甚化や感染症の発生などを背景に、安全・安心に対する市民意識が高まっている。広域地方計画中間整理(素案)第3部 第7節や 第4部 第9節にあるハード面を中心とした危機管理体制に関する事項の記載に加え、新型インフルエンザ等への対応など、広域的な観点で危機管理体制の構築についても触れておくべきと考えるがどうか。	神戸市	5013
はじめに	(計画の意義)		国の関係機関、関係府県・指定都市、関西の経済団体等のトップが一堂に会し、 (法に定められた「協議会を組織する機関」として、指定都市も参加しているので、記載すべきである。)	京都市	5014
はじめに	(計画期間)		今後概ね10ヶ年間→「今後概ね10年間」又は「今後概ね10ヶ年」に修正	京都市	5015

その他 について

節NO.	()NO.	○NO	ご意見・ご提案	機関名	番号
			主要プロジェクトの構成の見直し(案) 別紙2 主要プロジェクトの構成案 中 目指す姿の5 「教授」→「享受」	岡山県	5016
はじめに	計画の意義		近畿圏広域地方計画は、国の関係機関、関係府県市、関西の経済団体等のトップが一堂に会し一体となって、関係市町村や市民の… 関西全体の国際競争力や文化力を高めるとともに魅力ある豊かな暮らしを実現することで、わが国全体の発展に貢献しを支援、国土全体がより魅力的なものとなること期待されているに貢献する。	兵庫県	5017
第4部全般			・主要プロジェクトの説明部分で、「独自性の高い取組や新たな取組を含むもの、具体的で、かつ、高い施策効果が見込まれる取組であるものを中心に」まとめたところがあるが、抽象的、総論的な表現に終始しており、インパクトに欠け、住民にとって、近畿圏が具体的にどうなるのかわからない。 ・プロジェクトに具体的にどの程度まで記述できるのか、全国的な基準が設けられていないのであるなら、総花的な事業の羅列にならない範囲で、近畿圏独自の基準を定めて主要プロジェクトを記述してはどうか。住民にわかりやすい計画とするためには、具体的な記述が不可欠と考えるが、仮に、全国的な統一基準に基づく必要があるとしても、できるだけ具体的な記述を可能とするような基準となるようにするべきではないか。	奈良県	5018